

2018年9月30~10月1日

沖縄玉城デニー当選、オスプレイ・米軍・軍備、政局

新知事に玉城デニー氏が当確 辺野古反対に支持 承認撤回、翁長氏を継承

琉球新報 2018年9月30日 21:35

翁長雄志知事の死去に伴う第13回沖縄県知事選挙は30日、投票が行われた。即日開票の結果、県政与党が推す無所属新人で前衆院議員の玉城デニー氏(58)が、政府与党が推す無所属新人で前宜野湾市長の佐喜真淳氏(54)＝自民、公明、維新、希望推薦＝を破って初当選を果たした。

最大の争点だった米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設について玉城氏は反対を公約に掲げ、翁長知事が指示した辺野古埋め立て承認の撤回を支持している。

知事選で県民は辺野古移設反対の民意を改めて示す結果となった。辺野古新基地建設を強行してきた政府の今後の対応が注目される。

辺野古新基地建設に対し玉城氏は選挙期間中、「宜野湾市民が受ける基地被害の苦しみを名護市民に背負わせることはできない。翁長知事の遺志を継ぎ、新基地建設を阻止するために全力を尽くす」と訴えてきた。

その上で、来年2月に期限を迎える普天間飛行場の5年以内の運用停止について「政府は(運用停止の)約束を守るべきだ」と主張している。

埋め立て承認撤回に対しては「全面的に支持する。撤回は公有水面埋立法に基づき適正に判断したものだ」と指摘してきた。

このほか、玉城氏は政策で「誰ひとり取り残さない社会」の実現を目指すと宣言。「保育料の無料化」「待機児童ゼロ」「子育て世代包括支援センターの全市町村設置」「保育所整備、認可外保育施設の認可化を支援」「認可外保育施設の給食費補助」などを掲げてきた。

玉城氏は1959年10月13日、うるま市与那城生まれ。本名は玉城康裕。人気ラジオパーソナリティーとして活躍していたが、政治家を志し、2002年に沖縄市議に初当選。09年に衆院議員に初当選し、4期務めた。妻・智恵子さんと2男2女。【琉球新報電子版】

琉球新報

2018 沖縄県知事選 選管最終 1時02分

2018 沖縄県知事選		当選回数	代表的肩書
氏名	得票数	年党派(推薦・新選)	旧回書
玉城デニー	396,632	58	新
佐喜真淳	316,458	54	新
渡口初美	3,482	83	新
兼島俊	3,638	40	新

2018 沖縄県知事選



自民・公明・維新・希望新推薦 前宜野湾市長

淳



玉城デニー 当選 396,632 58 新 前衆院議員



渡口初美 3,482 83 新 琉球料理研究家

美



兼島俊 3,638 40 新 元IT会社社員

沖縄知事に玉城氏＝辺野古反対、翁長県政を継承—自公系に大差、安倍政権打撃

時事通信 9/30(日) 21:41 配信



沖縄県知事選で勝利し、万歳する玉城デニー氏(手前中央)＝30日夜、那覇市

沖縄県の翁長雄志知事の死去に伴う知事選は30日、投票開票された。

米軍普天間飛行場(宜野湾市)の名護市辺野古移設の是非が争点となり、翁長氏の後継で移設阻止を掲げた前衆院議員の玉城デニー氏(58)が、移設を進める安倍政権の全面支援を受けた前宜野湾市長の佐喜真淳氏(54)＝自民、公明、維新、希望推薦＝ら3人を破り、初当選した。移設をめぐる国と対立した翁長県政が継承される。玉城氏の得票は40万票近くに達し、1998年に稲嶺恵一氏が獲得した過去最多(37万4833票)を上回った。次点の佐喜真

氏には8万票超の大差を付けた。10月4日に当選証書が付与される。

政府側は知事選の結果に関係なく工事を進める構えだが、移設反対の民意が改めて示されたことで計画の進捗（しんちよく）に影響するのは必至。県政奪還の失敗は、自民党総裁選で連続3選を果たしたばかりの安倍晋三首相にも打撃で、来年夏の参院選に向け、与党内で首相への不満が強まる可能性がある。

投票率は63.24%で前回は0.89ポイント下回った。期日前投票は有権者数の約35%に当たる40万6984人に上り、前回の2倍を超えた。

玉城氏は30日夜、那覇市内で記者団に「辺野古に新基地を造らせないという誓いを全うする。県民の思いをしっかり」と政府に突き付ける」と述べた。

玉城氏は、翁長氏後継を前面に打ち出し「弔いムード」を演出、辺野古移設を「あらゆる手段で阻止する」と訴えた。国には頼らない、沖縄の自立型経済を目指すとの主張も共感を集めた。翁長氏を支えた「オール沖縄」勢力の後押しを受けて支持を広げ、国政野党の政党色を抑えたことも功を奏した。

佐喜真氏は辺野古移設の是非には触れず、「対立から対話へ」を旗印に政府との協調をアピール。振興予算を呼び込み、県民生活向上を目指すと訴えた。自民、公明両党は党幹部が沖縄に常駐するなど異例の態勢で支援。菅義偉官房長官や自民党の二階俊博幹事長らも相次いで沖縄入りしたが、及ばなかった。

首相は30日夜、「本当に残念だ」と自民党幹部に語った。二階氏は「敗因をよく分析し、党組織の拡充強化に努めつつ、県民の期待に応えられるようさらに研さん努力する」とのコメントを出した。

沖縄県知事に玉城氏初当選 辺野古反対、政権打撃 共同通信 2018/10/1 01:45



沖縄県知事選で当選を決め、笑顔でカチャーシーを踊る玉城デニー氏＝30日夜、那覇市

沖縄県の翁長雄志知事の死去に伴う知事選が30日投開票され、米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古移設に反対する前衆院議員玉城デニー氏（58）が、移設を推進する安倍政権が支援した前宜野湾市長佐喜真淳氏（54）＝自民、公明、維新、希望推薦＝ら3人を破り、初当選した。翁長氏に続く反対派知事の誕生により政府の移設スケ

ジュールに影響が出るのは必至で、政権への大きな打撃となった。投票率は63.24%で、前回選を0.89ポイント下回った。

政権は選挙結果にかかわらず移設を進める方針だが、玉城氏は移設是非を問う県民投票を実施し反対の意思を示すなど徹底抗戦する構え。



沖縄県知事選の開票状況を支持者らと見守る玉城デニー氏（中央）＝30日午後8時24分、那覇市

沖縄知事に玉城氏初当選 政権支援の佐喜真氏を破る 朝日新聞デジタル 9/30(日) 19:10 配信



当選しバンザイする玉城デニー氏（中央）。後ろは故翁長雄志氏の次男の雄治氏＝2018年9月30日午後9時34分、那覇市、小宮路勝撮影

翁長（おなが）雄志（たけし）知事の急逝に伴う沖縄県知事選が30日投開票され、米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古への移設に反対する前自由党衆院議員の玉城（たまき）デニー氏（58）が、前宜野湾市長の佐喜真（さきま）淳（あつし）氏（54）＝自民、公明、維新、希望推薦＝ら3人を破り、初当選した。過去最多得票の大勝で、県民は翁長氏が当選した前回知事選に続き、「辺野古移設」に明確なノーを突きつけた形となった。

移設計画が浮上してから6回目の知事選。8月に急逝した翁長氏は「辺野古移設阻止」を掲げ、安倍政権と対立し続けてきた。玉城氏は当選を決めた30日夜、「辺野古に新基地を造らせないと誓いを、ぶれずに全うしたい」と、翁長路線を引き継ぐ考えを示した。

玉城氏は、翁長氏を支えた共産、社民両党や、労組、一部の企業人らによる「オール沖縄」勢力が後継として擁立した。翁長氏の家族も集会でマイクを握るなどして、辺野古阻止の遺志を継ぐことを訴え、沖縄に基地が集中し続ける現状の理不尽さを強調した。

玉城氏を支援する立憲民主党の枝野幸男代表や自由党の小沢一郎代表ら野党幹部も応援に訪れた。だが、玉城氏と

街頭でほとんど並ばず、党派色を抑えて無党派層も取り込んだ。

一方、佐喜真氏は安倍政権の全面支援を受け、「対立から対話へ」をスローガンに政権との関係改善を主張。県民に根強い「辺野古反対」を意識して、移設の賛否には一切言及せず、生活支援や経済振興を前面に押し出した。菅義偉官房長官ら政府・与党幹部も続々と沖縄に入って応援。だが、辺野古移設を強引に推し進めてきた安倍政権への反発をかわせなかった。

辺野古では埋め立て予定区域の一部を護岸で囲み終え、政府は8月にも土砂投入を始める予定だった。しかし県は8月末に埋め立て承認を撤回し、工事は中断している。政府は今後、法的な対抗措置を執り、裁判所に認められれば埋め立てを始める構えだ。

県選管によると、当日有権者数は114万6815人。投票率は63・24%（前回64・13%）だった。

沖縄県知事選 辺野古ノー再び 「翁長さん遺志」県民共感

毎日新聞 2018年9月30日 22時49分(最終更新 10月1日 00時34分)



当選を確実にし、支援者とカチャーシーを踊る玉城デニーさん（中央）＝那覇市で2018年9月30日午後9時34分、徳野仁子撮影

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古への県内移設計画に、沖縄県民は4年前に続いて再び「ノー」を突きつけた。30日に投開票された沖縄県知事選は、8月に急逝した翁長雄志（おなが・たけし）知事の遺志を継ぎ、「辺野古に新基地は造らせない」と訴えた元衆院議員の玉城（たまき）デニーさん（58）が、移設を進める安倍政権が支援した前宜野湾市長の佐喜真淳（さきま・あつし）さん（54）らを破って初当選を決めた。政府が移設工事を強行する中であっても、県民は辺野古の美（ちゅ）ら海を埋め立てるのは許さないとの強い決意を示した。

「当選確実」を伝えるテレビの速報が入ると、支持者が集まった那覇市の会場は大きな歓声に包まれ、指笛が響く中、沖縄の手踊り「カチャーシー」を舞う玉城さんの笑顔がはじけた。辺野古移設反対を訴え続けた玉城さんが、ほころびかけていた保守の一部と革新が共闘する「オール沖縄」態勢を再びつなぎ合わせた。

玉城さんは速報で歓声が湧き起こる中、思わず天を仰いでいた。「命がけて新しい基地を造らせないという翁長知事の思いが県民に宿っていて、私を後押ししてくれた」。そう話した玉城さんは「翁長知事から受け継いだ礎を継承し、県民とともに希望へと進んでいくことを翁長知事に約束したい。チムグクル（真心）にあふれる沖縄をみんなであつていきましょう」と決意をにじませた。

痔（すい）がんのため67歳で急逝した翁長氏の後継として出馬を表明したのは告示のわずか2週間前。翁長氏が生前に玉城さんの名前を挙げていたことが明らかとなり、急転直下で短期決戦に挑んだ。

父は、本土復帰前の米国統治下の沖縄に駐留していた米兵で、生まれる前に帰国し、顔も知らない。母は生活のために働き、10歳ごろまで知人女性が預かって育ててくれた。そんな自らの出自を政治理念の原点とし「誰も取り残さない社会」の実現を目指した。

本名は康裕で「デニー」は愛称。街頭や集会ではラジオパーソナリティーだった経験を生かし、ウチナーグチ（沖縄の言葉）を駆使した軽妙な語り口で聴衆の心をつかんだ。

全国の米軍専用施設の約7割が沖縄に集中する不条理に「日米両政府から沖縄をウチナーンチュ（沖縄の人）の手に取り戻す」と真っ向から立ち向かい、国に頼らない自立型経済の推進を訴えた。

選挙戦終盤には翁長氏の妻樹子（みきこ）さん（62）も集会で壇上に上がり「翁長が命がけて守ろうとした沖縄を、県民の心に1ミリも寄り添おうとしない相手に譲りたくない」と訴えて「吊い合戦」をアピールした。「まけてーないびらんどー（負けてはならない）」など玉城さんも翁長氏のスローガンを多用して、支持を広げることに成功した。

【佐野格、柚谷健太】

沖縄知事選 玉城デニー氏が初当選 辺野古反対派に追い風

毎日新聞 2018年9月30日 21時29分(最終更新 10月1日 00時19分)



当選を確実にし、万歳する玉城デニー氏（中央）＝那覇市で2018年9月30日午後9時34分、徳野仁子撮影

翁長雄志（おながたけし）知事の死去に伴う沖縄県知事選は30日投開票され、翁長氏の後継として米軍普天間飛

行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古への県内移設計画に反対する元自由党衆院議員の玉城（たまき）デニー氏（58）が、移設を進める安倍政権が支援した前宜野湾市長の佐喜真淳（さきまあつし）氏（54）＝自民、公明、維新、希望推薦＝ら3氏を破り、初当選した。政府は移設を計画通り進める方針だが、玉城氏は「あらゆる権限を駆使して阻止する」としており、今後も政府と沖縄の対立が続く。玉城氏の得票は沖縄県知事選で過去最多得票となった。

1996年の日米両政府による普天間飛行場の返還合意以降、知事選は6回目。移設阻止を掲げた翁長氏が移設推進を訴えた現職を大差で破った2014年の前回選に続き、辺野古移設反対の強い民意が改めて示された。一方、9月の自民党総裁選で3選した安倍晋三首相は10月2日に内閣改造を行うが、全面支援した佐喜真氏の敗北は来年の統一地方選や参院選の前に大きな打撃となった。

辺野古移設を巡っては、政府が17年4月に護岸工事に着手したが、県が今年8月末に埋め立て承認を撤回して工事は法的根拠を失って止まっている。政府は工事再開のために法的措置を取る構えだが、移設反対の玉城氏の勝利を受けて県民の反発が強まるのは必至だ。

玉城氏は8月に隣（すい）がんで急逝した翁長氏の後継として、辺野古移設に反対する共産や社民などの政党や企業、団体からの支援を受けた。選挙戦で「翁長氏の遺志を継ぎ、辺野古に新基地を造らせない」と強調。政党の推薦は受けずに、前回選で保守の一部と革新が辺野古移設反対で共闘した「オール沖縄」態勢の再構築を狙った。

前回選以降、「オール沖縄」勢力から一部の保守系議員や企業が離脱するなどしたが、「イデオロギーよりアイデンティティー」「誇りある豊かさ」と翁長氏のスローガンを繰り返し使って「甲い合戦」をアピール。無党派層にも浸透して幅広い支持を集めた。

自民県連が擁立した佐喜真氏は、普天間飛行場の早期返還を強調する一方、辺野古移設の賛否を明言しない戦略を徹底した。移設問題で政府と対立した翁長県政からの転換や政権と協調しての経済振興を訴えた。

菅義偉官房長官が9月に3回沖縄に入るなど政府・与党は異例の態勢で組織戦を展開。県本部が辺野古移設に反対のため前回選は自主投票に回った公明も、今回は推薦して全面支援した。だが、翁長氏が知事就任後も埋め立て工事を強行した安倍政権への反発は強く、支持を伸ばせなかった。

初当選を決めた玉城氏は「辺野古に新しい基地を造らせない」という誓いをぶれずにしっかり貫いていく」と移設阻止の決意を述べた。そのうえで「(県による辺野古沿岸部の)埋め立て承認の撤回は公有水面埋立法に基づく判断だ。それを守れないのは民主主義国家、法治国家ではない」と移設工事を強行する政府を批判した。

投票率は63.24%で前回(64.13%)を下回っ

た。当日有権者数は114万6815人【遠藤孝康】

沖縄知事に玉城氏 政権支援の佐喜真氏破る

日経新聞 2018/9/30 21:50 (2018/10/1 0:23 更新)

翁長雄志知事の死去に伴う沖縄県知事選は30日投開票され、無所属新人の玉城デニー氏(58)が、前宜野湾市長の佐喜真淳氏(54)＝自民、公明、維新、希望推薦＝ら3人を破り初当選した。政府が進める米軍普天間基地(宜野湾市)の名護市辺野古への移設が争点で、玉城氏は移設反対の野党から支援を受けた。

投票率は63.24%と前回選挙より0.89ポイント下がった。玉城氏の得票は同県知事選で過去最多だった。



当選を確実にし万歳する玉城デニー氏(30日、那覇市)＝塩山賢撮影

玉城氏は記者団に「県民が認められないものは辺野古新基地建設だ。県民の思いをしっかりと要求していきたい」と述べた。「県の埋め立て承認撤回はしっかり支持をする。新基地をつくらせないとの誓いはぶれずにこれからも全うしたい」とも強調した。

選挙戦は辺野古移設反対の玉城氏と、安倍政権が全面的に支援した佐喜真氏の対決が中心になった。佐喜真氏は「県民の暮らし最優先を訴えたが、なかなか浸透できなかった。私の力不足だ」と記者団に語った。

玉城氏は辺野古移設反対を掲げたまま8月8日に死去した翁長氏の遺志をつぐ候補として出馬し、国政の野党各党の支援を受けた。

自民党は4年ぶりの県政奪還を目指した。前回知事選で自主投票だった公明党や、日本維新の会と連動して組織戦を展開したが及ばなかった。

翁長県政の4年間は辺野古を巡って政府と対立が続いた。2代連続で移設反対派が勝利したことで国と県の溝はさらに深まった。

工事は翁長県政の副知事による埋め立て承認の撤回で止まっている。玉城氏は撤回を支持すると改めて表明したが、政府は工事再開へ法的な措置をとる方針だ。政府と県の争いは再び法廷闘争に発展する見通しだ。

日米両政府が1996年に米軍普天間基地の返還で合意してから県知事選は今回で6回目。そのうち自民党が選挙を支

援した保守系の知事は 98～2014 年の稲嶺恵一、仲井真弘多の両氏。玉城氏が勝ったことで、14 年の翁長氏から国政での野党系が支援する辺野古移設反対派の知事が続くことになった。

安倍晋三首相（自民党総裁）は 2 日の内閣改造・党役員人事の直前に、注目を集めた大型選挙で敗北した。19 年夏の参院選を控え、政権運営に打撃となった。

玉城氏 39 万票で過去最多 沖縄県知事選 得票数確定

日経新聞 2018/10/1 1:37



沖縄県知事選に投票する有権者（30 日、那覇市役所）

9 月 30 日に投開票された沖縄県知事選は 10 月 1 日未明、各候補者の得票数が確定した。無所属新人の玉城デニー氏（58）が 39 万 6632 票を獲得し、同知事選で過去最多だった。前宜野湾市長の佐喜真淳氏（54）に約 8 万票の差をつけた。

当 396632	玉城デニー	無新
316458	佐喜真 淳	無新
3638	兼島 俊	無新
3482	渡口 初美	無新

勝利の玉城氏、カチャーシー踊り喜び 沖縄知事選

日経新聞 2018/9/30 22:29

多くの沖縄県民の答えは「辺野古ノー」だった。米軍普天間基地（宜野湾市）の名護市辺野古への移設問題が最大の争点となった沖縄県知事選は、亡くなった翁長雄志知事の遺志を継ぎ「絶対に新基地を造らせない」と訴え続けた玉城デニー氏（58）が制した。だが政府は工事を粛々と進める構えで、国と県の対立の構図が続くのは必至。基地問題の行方はなお混沌としている。



子供を抱き上げて喜ぶ玉城デニー氏（30 日、那覇市）

「勝ったぞ」「やった」。当選を決めた玉城氏的那覇市内の事務所では午後 9 時半すぎ、200 人以上集まった支援者らが大きな歓声を上げて喜びを爆発させた。

白地に大きく花が描かれたかりゆしを身にまとった玉城氏は、周囲の人たちと手をつないで立ち上がり、万歳を三唱。指笛を吹きながら沖縄の伝統舞踊「カチャーシー」を踊り、翁長氏の次男の雄治氏らとハイタッチした。

選挙戦では翁長氏の「後継者」としての立ち位置を前面に打ち出し、有権者と近い位置に座る「車座」形式の演説も重ねた玉城氏。支援者を前に「経済を順調に進め、これ以上新しい基地を造らせない」という翁長氏の思いが多くの県民に宿っており、(当選を) 後押ししてくれた」と高揚した様子で勝利宣言し「翁長氏が築いた礎を継承し積み上げていくことで、多くの県民に希望を与えたい」と述べた。

一方、佐喜真淳氏（54）は午後 9 時半すぎに那覇市のホテルの会場に姿をみせた。沈んだ表情で「県民の暮らしが最優先と訴えてきたが、その訴えが届かなかったのは私の不徳のいたすところだ」と述べ、集まった約 100 人の支持者に向かって「多くの支援をいただいたのに残念な結果になってしまい申し訳ない」と深く頭を下げた。

選挙戦では普天間基地の辺野古への移設の是非について明言を避けてきた佐喜真氏。基地問題の今後について問われると「普天間基地の返還を訴えてきた。(玉城氏には) それを実現してほしい」と述べた。佐喜真氏は陣営幹部らと一人ずつ握手すると、10 分余りで会場を後にした。

沖縄県知事選 玉城デニー氏 初当選

NHK10 月 1 日 1 時 33 分



翁長知事の死去に伴う沖縄県知事選挙は 30 日に投票が行われ、野党が支援し、アメリカ軍普天間基地の名護市辺野古への移設阻止を訴えた前衆議院議員の玉城デニー氏が、与党などが推薦した候補らを破り、初めての当選を果たしました。

沖縄県知事選挙の開票結果です。

▽玉城デニー（無所属・新）当選、39 万 6632 票

▽佐喜真淳（無所属・新）31 万 6458 票

▽兼島俊（無所属・新）3638 票

▽渡口初美（無所属・新）3482 票

野党が支援した前衆議院議員の玉城氏が、自民・公明両党などが推薦した前宜野湾市長の佐喜真氏らを破り、初めての当選を果たしました。

玉城氏は沖縄県出身の 58 歳。タレントとして活動したあと、市議会議員を経て、平成 21 年の衆議院選挙で初当選し、現在、自由党の幹事長を務めています。

玉城氏は、8月に死去した翁長知事の後継をアピールし、政府が進めるアメリカ軍普天間基地の名護市辺野古への移設阻止を訴えました。

その結果、翁長知事を支持してきた共産党や社民党などの支持層を固めたほか、いわゆる無党派層の支持も集め、初めての当選を果たしました。

対する佐喜真氏は、地域経済の振興などを訴え、自民党や、前回自主投票だった公明党などの全面的な支援を受けましたが、及びませんでした。

玉城氏の勝利により、普天間基地の辺野古移設をめぐる沖縄県と政府との対立は今後も続くものとみられます。

玉城氏「翁長知事の礎を継承・発展を約束したい」

玉城氏は「本当に身の引き締まる思いでいっぱいです。翁長知事の礎を継承し、発展させていくことを約束したい。埋め立て承認の撤回を支持し、名護市辺野古への移設反対をぶれずにやっていく。対立や分断を持ち込んでいるわけではなく、経済については国としっかり協議をしたいが、県民が認められないものはしっかり政府に突きつけていく」と話していました。

佐喜真氏「申し訳なく思う」

佐喜真淳氏は「結果は私の不徳の致すところで申し訳なく思う。まだ、つぶさに結果を見ていないので、すぐに話ができないが、4つの党や各種団体の推薦を受けて戦ってきたが、『県民の暮らしが最優先』という訴えが県民に浸透できなかった」と述べました。

玉城候補を支援した各党は

立憲民主党の福山幹事長は「翁長前知事の遺志を継承する県政を県民が選択し、辺野古新基地建設撤回を支持する県民の意志が改めて明確となった。政府・与党は、県民の選択に真摯（しんし）に向き合い、県民の意志に反する安全保障政策に有効性はないことや、政府・与党の都合を押しつける手法はもはや通用しないことをしっかりと肝に銘ずるべきだ。辺野古新基地建設の埋め立て工事の再開などは、到底あってはならない」という談話を発表しました。

国民民主党の玉木代表は「争点となった辺野古の新基地建設問題については、今回示された沖縄の民意を尊重し、政府が強引に手続きを進めることがないよう、沖縄県と丁寧な話し合いを行うことを求める。あわせて、日米地位協定の改定に向けた具体的な作業を開始することを求める」という談話を発表しました。

共産党の志位委員長は「辺野古に新基地はつくらせない、普天間基地は即時閉鎖・撤去をという県民の確固たる意思を示したもので、翁長知事の遺志を引き継ぎ、県民が勝ち取った歴史的勝利だ。安倍政権は、沖縄に対する強権政治をきっぱりやめ、県民の意思を重く受け止め、名護市辺野古の新基地建設を直ちに中止すべきだ」という談話を発表しました。

自由党の小沢代表は「翁長前知事の心をしっかりと受け継

ぎ、沖縄のあるべき姿や未来について、具体的に情熱的に訴えかけてきた姿勢が理解された。辺野古移設問題は、はっきりとした民意が示された。国は重く受け止めて反省し、沖縄に重荷を押しつけることのないよう、解決に力を尽くすべきだ」という談話を発表しました。

社民党の吉川幹事長は「玉城氏とともに、沖縄県の過剰な基地負担を全国で受け止め、辺野古新基地建設阻止や普天間基地の即時、運用停止と閉鎖・撤去などを強く求めている。安倍政権は、辺野古移設を断念し、県民が平和に生きる権利の具体化に努めるべきだ」という談話を発表しました。

佐喜真候補を推薦した各党は

自民党の塩谷選挙対策委員長から選挙結果の報告を電話で受けた安倍総理大臣は「残念だけどしょうがない」と述べたということです。

自民党の二階幹事長は「あと一步及ばず、残念な結果となった。沖縄県民の審判を厳粛に受け止め、敗因をよく分析し、党組織の拡充強化に努めつつ、県民の期待に応えられるよう、さらに研さん努力していきたい」とするコメントを出しました。

公明党の斉藤幹事長は「敗因は、知名度不足と、佐喜真候補の人柄、能力、実績を沖縄県全域に浸透させる時間がなかったことだ。新知事には、県民生活の向上や普天間基地の危険除去という佐喜真候補が訴えた政策も考慮に入れた県政を望みたい」とする談話を発表しました。

日本維新の会の馬場幹事長は「沖縄県民の民意として厳粛に受け止めたい。沖縄の問題は基地問題だけではない。新しい知事には、経済政策や暮らし、子育て支援など、県民の目線に立った県政運営を望みたい」というコメントを発表しました。

希望の党の松沢代表は「辺野古移転は普天間基地の危険除去のための唯一の解決策ということについては、県民に一定の理解を頂いたと思っている。今後、玉城氏が、普天間基地の危険性除去についての具体的な代替案を提示することをせつに望んでいる」というコメントを発表しました。米國務省「沖縄の貢献を評価」

玉城氏の当選を受けて、アメリカ國務省は「玉城氏の当選に祝意を伝えるとともに、今後、一緒に仕事をしていくことを楽しみにしている」というコメントを発表しました。この中で、國務省は「アメリカ政府は、日米同盟と2国間の安全保障に対する沖縄の貢献を非常に重んじている」と沖縄の重要性を強調しています。

一方で、玉城氏が反対する立場を鮮明にした普天間基地の移設問題については言及しておらず、日米両政府で合意した名護市の辺野古沖に移設する計画を維持していく方針です。

勝利宣言に喜び爆発＝玉城さん、辺野古阻止に決意－沖縄

知事選



沖縄県知事選で勝利し、踊る玉城デニーさん（中央）＝30日夜、那覇市

沖縄県知事選で激しい接戦を制した玉城デニーさん（58）の那覇市内の陣営では午後9時半すぎ、当確の情報が伝わった瞬間、詰め掛けた約200人の支援者が歓声を上げ、沖縄の踊り「カチャーシー」で喜びを爆発させた。「わったーがかっちゃんどー（私たちが勝ちました）」。玉城さんが勝利を宣言すると、拍手と指笛が鳴り響いた。

当確の直後、目をぎゅっと閉じ、妻智恵子さん（59）の手を握った玉城さん。大きく息を吐いた後、支援者に向かって笑顔でポーズを決めた。「翁長雄志知事が命を削って全うしようとしたことが県民にしっかり宿っていた。辺野古の新基地建設は絶対に認めない」と断言した。



沖縄県知事選で敗れ、会場に集まった支持者に頭を下げる佐喜真淳氏（中央）＝30日午後、那覇市

一方、佐喜真淳さん（54）は午後9時40分ごろ、約80人の支援者が集まる那覇市内のホテル会場に到着。相手候補の当確が伝えられると、陣営は静まり返り、佐喜真さんは腕組みして厳しい表情を見せた。

佐喜真さんは支援者に対し、「不徳の致すところ。皆様方には深くおわびを申し上げたい」と一礼し、足早に会場を後にした。（2018/10/01-01:39）

参院選へ危機感、改憲影響も＝安倍首相3期目、出足つまづくー沖縄知事選

沖縄県知事選で与党系候補が敗れ、安倍晋三首相にとっては自民党総裁3期目の出足からつまずいた格好となった。党内で来年夏の参院選への危機感が強まるのは必至で、政権の求心力が低下すれば首相が宿願とする憲法改正の行方も左右しかねない。意気上がる野党側は、10月下旬に召集予定の臨時国会で対決姿勢を強める構えだ。

自民党の塩谷立選対委員長は30日夜、党本部で記者団に、政権への影響について「直接はないと思うが、来年は統一地方選、参院選もあるので結果を分析して立て直しを図っていく」と言葉少なに語った。公明党の斉藤鉄夫幹事長は談話で「候補の知名度不足と人柄、能力、実績を浸透

させる時間がなかった」とした。

与党内では参院選への懸念が広がっている。首相は総裁選の地方票で約55%を得るにとどまり、「首相では参院選を戦えない」（自民党閣僚経験者）との声が出ていた。知事選の結果は、こうした見方を裏付けた形で、首相に近い閣僚経験者は「不敗神話が崩れた。政権へのダメージは大きい」と指摘した。

改憲のスケジュールにも影響しそうだ。首相は臨時国会への党改憲案提出と参院選前の国会発議を視野に入れるが、慎重姿勢を強める公明党や、知事選勝利で勢いづく野党の理解を得られるかは不透明だ。

野党側は安倍政権への攻勢を掛ける方針だ。参院選1人区と同様に1人を選ぶ選挙で、事実上の与野党一騎打ちを制したことで、野党の選挙協力にも追い風となる可能性がある。

立憲民主党の福山哲郎幹事長は取材に「政府・与党が総力戦で戦ったにもかかわらず負けた」と強調。同党幹部は「野党が連携すれば勝てる。参院選は1人区で一本化を図りたい」と語った。

国民民主党の玉木雄一郎代表は談話で、政府に対し「沖縄の民意を尊重し、県との丁寧な話し合いを求める」と訴えた。共産党の志位和夫委員長は「国家権力を総動員して民意をつぶそうとした安倍政権への痛烈な審判」と指摘した。（時事通信 2018/10/01-01:40）

辺野古移設、国・県の対立さらに深刻に 沖縄知事選

2018/9/30 22:00 情報元日本経済新聞 電子版

沖縄県知事選で自由党幹事長の玉城デニー氏が勝利したことで、米軍普天間基地（同県宜野湾市）の名護市辺野古移設をめぐる国と県の対立はさらに深まった。政府は埋め立て工事を進める方針は変えないが、玉城氏を支持した移設反対派の県民世論に配慮する必要に迫られる。国政与党が支援する候補が2回続けて敗北し、安倍政権には打撃になった。



米軍普天間基地の移設工事が進む沖縄県名護市辺野古の沿岸部＝共同

翁長県政下では埋め立て承認を撤回して工事が止まっていた。政府は工事再開に向け、撤回の効力を失わせるなどの申し立てを裁判所にする方針だ。政府が勝訴すれば1カ月で工事が再開できるとの見方がある。

政府は工事を再開した後、埋め立て海域への土砂投入に着手する段取りだ。土砂を投入すれば原状回復が困難になる。

今回、玉城氏が勝ったことで政府は強硬な姿勢はとりにくくなった。投入の判断は非常に難しくなった。

政府側には「玉城氏に残された対抗手段は少ない」との声もある。移設阻止を巡る「最後のカード」とされていた埋め立て承認の撤回は、既に翁長県政下で実施したからだ。玉城氏はまずサンゴを移植する際の許可権限などを使って抵抗するとみられる。その後は県内世論の後押し次第となる。

玉城氏の支援者には移設の是非を問う県民投票の実施を求める意見がある。各市町村の協力などが必要になるため、実現性は不透明といわれてきた。移設反対派の知事が2代続くことで、県内世論は強固な反対でまとまったとの声もある。

日米両政府は米軍普天間基地を最短で2022年度に返還すると合意していた。国と県の対立が深刻さを増せばスケジュールはずれ込む。

自民党は菅義偉官房長官や小泉進次郎筆頭副幹事長がたびたび沖縄県に入り、佐喜真淳氏を応援した。長く同県に関わってきた竹下派の会長を務める竹下亘総務会長も現地に張り付いた。公明党も組織を挙げて戦い、自公が総力戦を展開した。

安倍晋三首相は30日、自民党の塩谷立選挙対策委員長との電話で「残念だが仕方ない」と語った。二階俊博幹事長は「県民の審判を厳粛に受け止め、敗因をよく分析し、県民の期待にこたえるよう研さん努力したい」とのコメントを発表した。塩谷氏は記者団に「弔い合戦的な状況が続いた」と指摘。政権への影響に関しては「直接はない。参院選と統一地方選へ立て直しを図っていく」と述べた。

公明党の斉藤鉄夫幹事長は「敗因は知名度不足と候補の人物、能力、実績を浸透させる時間がなかったから」と語った。

全県での知名度が課題だった佐喜真淳氏は自民、公明両党が国会議員や秘書を動員し、県内の関係者に支持を呼びかけた。日本維新の会や希望の党も同様に動いた。共産党幹部は「中央からの露骨な物量作戦が県内での反発を招いた」と指摘した。

産経新聞 2018.9.30 23:50 更新

【沖縄県知事選】玉城氏勝利で辺野古移設、泥沼化の恐れ 工事妨害を明言



沖縄県知事選で初当選を果たした玉城

デニーさん

玉城（たまき）デニー前衆院議員が30日投開票の沖縄県知事選に勝利したことで、米軍普天間飛行場＝宜野湾（ぎのわん）市＝の名護市辺野古移設をめぐる政府と県の対立が続くことになりそうだ。

「私は翁長雄志（おなが・たけし）知事の遺志を引き継ぐ。行動の原理も引き継ぐ」

玉城氏はこう述べて支持を訴えてきた。翁長氏の行動原理とは、辺野古移設を「沖縄差別」と断定し、徹底的に移設工事を妨害することに他ならない。玉城氏は、県が8月31日に行った埋め立て承認の撤回を支持する考えも表明している。

これに対し、政府は埋め立て承認の撤回を取り消すよう求める法的対抗措置をとる方針だ。事前の手続き不備を理由とした承認の「取り消し」をめぐる裁判では最高裁で県の敗訴が確定しており、今後行われる裁判でも勝訴できると踏む。

しかし、問題はその先だ。

辺野古の軟弱地盤の改良工事や設計変更について新知事の承認を得なければならぬ。防衛省幹部は「これまでは知事の承認を得ないで進められるギリギリの工事をしてきたが、それも限界に近づきつつある」と述べる。玉城氏は「あらゆる手法を駆使して、辺野古に新基地はつくらせない」とも語っており、移設工事が進まなくなる可能性は否定できない。

政府内では知事権限を国に移す特別措置法の制定で事態を乗り切る案がある。また、翁長県政時代に約570億円減額された一括交付金など沖縄振興予算を、さらに削るべきだとする声もある。ただ、いずれも玉城氏との対立を激化させ、野党は国会での安倍晋三政権批判に利用することは想像に難くない。

一方、政府が玉城氏との間で妥協することも難しい。玉城氏自身は「保守」を名乗っているが、共産党や社民党など革新勢力の支援なしで知事選は勝利できなかった。翁長県政時代も活動家が大挙して県庁に押し寄せ、政府との妥協を牽制（けんせい）する光景が頻繁に見られた。玉城氏も9月1日に辺野古を訪れた際、県庁などに押しかける活動家の行動を褒めたたえた。

とはいえ、玉城氏が普天間飛行場の早期返還にこぎ着ける道筋を描き切っているわけではない。辺野古以外の移設先についても言及していない。米国人の父を持つ玉城氏は「私はお父さんの血が流れているから、向こうの人たち（米政府）は絶対否定できない」と移設交渉に自信を見せるが、米政府の戦略的判断と血筋は全く関係がない。

日米両政府の普天間返還合意から22年。玉城氏の当選で、市街地に囲まれた普天間飛行場の危険性は、さらに続く恐れがある。平成16年8月には隣接する大学に米海兵隊ヘリが墜落し、昨年12月にも小学校校庭にヘリの窓枠

が落下した。玉城氏は日米同盟を支持する立場だが、犠牲者が生まれる事故が発生すれば同盟に対する国民的支持を揺るがしかねない。県民の命を守る知事の責任も問われることになる。(杉本康士)

玉城氏の発言要旨＝沖縄知事選

30日の沖縄県知事選に当選した玉城デニー氏の発言要旨は次の通り。

翁長雄志知事の「これ以上新しい基地を造らせない」という、命を削って全うしようとしたことが多くの県民に宿っていたと思う。

辺野古に新しい基地は造らせないという誓いをしっかりとぶれずに全うしていきたい。決して私たちから対立や分断を持ち込んでいるわけではない。国としっかりと協議したい。

しかし、県民が認められないもの、その最たるものは辺野古新基地建設だ。そういうことについては県民の思いをしっかりと政府に突き付けたい。

辺野古新基地建設反対が一顧だにされなかった。県がすでに埋め立て承認を撤回している。公有水面埋立法の正当な手続きによる県の判断だ。国が法律を守らなかったわけだから、そのことを(裁判で)堂々と主張するべきだ。

政府と対峙(たいじ)することの難しさを私は考えていない。われわれの民意に沿って政府が判断すればいい。(時事通信 2018/10/01-00:04)

無党派7割超が玉城氏に＝出口調査分析－沖縄知事選

30日投開票の沖縄県知事選で、時事通信が行った出口調査によると、支持政党なしの無党派層の73.0%が勝利した玉城デニー前衆院議員に投票した。与党が全面支援した佐喜真淳前宜野湾市長への投票は24.9%にとどまった。

出口調査の有効回答数は867。無党派層のうち、米軍普天間飛行場(同県宜野湾市)の県外・国外移設を求める人は90.1%に上る一方、名護市辺野古への移設容認派は9.2%だった。

全体の有権者で見ると、辺野古移設反対派が80.9%だったのに対し、容認派は18.7%だった。容認派の8割強は佐喜真氏に投票したものの、15.4%は玉城氏を支持した。

玉城氏は、立憲民主、共産、社民各党支持層の9割以上から得票。佐喜真氏への投票は、自民党支持層の79.8%に対し、公明党支持層は66.7%と差が出た。同党県本部は辺野古移設反対の方針を崩しておらず、3分の1が玉城氏に流れた。

政党支持率は自民党29.2%、立憲民主党6.1%、社民党4.3%、共産党4.0%、公明2.4%と続いた。支持政党なしは49.9%だった。(時事通信 2018/09/30-

22:17)

当選の玉城氏、無党派や女性が支持 沖縄知事選出口調査

朝日新聞デジタル 2018年9月30日 20時23分

沖縄県知事選で朝日新聞社は30日、沖縄タイムス、琉球朝日放送と共同で出口調査を行った。

米軍普天間飛行場の辺野古移設反対を掲げた玉城デニー氏は、無党派層や女性からの多くの支持を得て、移設実現をめざす安倍政権が支援した佐喜真淳氏を引き離し、初当選を決めた。

調査は県内83投票所で実施。支持政党別の投票先では、無党派層の7割が玉城氏に投票。立憲、共産、社民の各支持層のほとんどが玉城氏に入れていた。

一方、佐喜真氏への投票は自民支持層の8割、公明支持層の7割だった。両党が組織を挙げて佐喜真氏を推したが、支持層の一定数が玉城氏に流れていた。

男女別では、女性の6割が玉城氏に投票し、佐喜真氏との差を広げた。年代別に見ると、若年層で佐喜真氏、高齢層で玉城氏への投票が多い傾向があった。40代以上で玉城氏が佐喜真氏をリードした。

沖縄知事に辺野古反対の玉城氏 政権支援の佐喜真氏破る

朝日新聞デジタル 2018年9月30日 23時47分



当選しバンザイする玉城デニー氏(中央)。後ろは故翁長雄志氏の次男の雄治氏＝

2018年9月30日午後9時34分、那覇市、小宮路勝撮影





翁長（おなが）雄志（たけし）知事の急逝に伴う沖縄県知事選が30日投開票され、米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古への移設に反対する前自由党衆院議員の玉城（たまき）デニー氏（58）が、前宜野湾市長の佐喜真（さきま）淳（あつし）氏（54）＝自民、公明、維新、希望推薦＝ら3氏を破り、初当選した。過去最多得票の大勝で、県民は翁長氏が当選した前回知事選に続き、「辺野古移設」に明確なノーを突きつけた形となった。

移設計画が浮上してから6回目の知事選。8月に急逝した翁長氏は「辺野古移設阻止」を掲げ、安倍政権と対立し続けてきた。玉城氏は当選を決めた30日夜、「辺野古に新基地を造らせないと誓いを、ぶれずに全うしたい」と、翁長路線を引き継ぐ考えを示した。

玉城氏は、翁長氏を支えた共産、社民両党や、労組、一部の企業人らによる「オール沖縄」勢力が後継として擁立した。翁長氏の家族も集会でマイクを握るなどして、辺野古阻止の遺志を継ぐことを訴え、沖縄に基地が集中し続ける現状の理不尽さを強調した。

玉城氏を支援する立憲民主党の枝野幸男代表や自由党の小沢一郎代表ら野党幹部も応援に訪れた。だが、玉城氏と街頭でほとんど並ばず、党派色を抑えて無党派層も取り込んだ。

一方、佐喜真氏は安倍政権の全面支援を受け、「対立から対話へ」をスローガンに政権との関係改善を主張。県民に根強い「辺野古反対」を意識して、移設の賛否には一切言及せず、生活支援や経済振興を前面に押し出した。菅義偉官房長官ら政府・与党幹部も続々と沖縄に入って応援。だが、辺野古移設を強引に推し進めてきた安倍政権への反発をかわせなかった。

辺野古では埋め立て予定区域の一部を護岸で囲み終え、政府は8月にも土砂投入を始める予定だった。しかし県は8月末に埋め立て承認を撤回し、工事は中断している。政府は今後、法的な対抗措置を執り、裁判所に認められれば埋め立てを始める構えだ。

県選管によると、当日有権者数は114万6815人。投票率は63・24%（前回64・13%）だった。

当選玉城氏、喜びのカチャーシー 「翁長さんの礎継ぐ」 朝日新聞デジタル 2018年9月30日 22時24分



カチャーシーを踊り当選を喜ぶ玉城デニー氏（中央）＝2018年9月30日午後9時35分、那覇市、小宮路勝撮影

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古への移設計画の是非が最大の争点となった沖縄県知事選で、当選を確実にした玉城デニー前衆院議員（58）は100人以上の支持者が集まる那覇市内の会場で30日午後9時半ごろからバンザイし、喜びのカチャーシーを踊った。

玉城氏は取材に「翁長さんがしっかりと築いていただいた礎を継承したい。発展を翁長知事に約束したいと思う」と話した。その上で安倍政権に対しては「常に、共生、融和ということを官邸のみなさんにも話させていただき、お互いに理解し合えるところは理解し合いたい。民意に沿って判断すればよい」と述べた。

沖縄知事選、投票率は63・24% 前を下回る 朝日新聞デジタル 2018年9月30日 23時55分

30日に投開票された沖縄県知事選の投票率は63・24%だった。前回より0・89ポイント下回った。当日有権者数は114万6815人。

いずれも無所属新顔で、「オール沖縄」勢力が推した前衆院議員の玉城（たまき）デニー氏（58）と、安倍政権が全面支援した前宜野湾市長の佐喜真淳（さきまあつし）氏（54）＝自民、公明、維新、希望推薦＝との事実上の一騎打ちとなり、玉城氏が初当選を決めた。

台風24号が接近し、県選管も期日前投票を積極的に呼びかけたこともあり、有権者の35%にあたる40万6984人が期日前投票を済ませていた。

政権の姿勢に反感・経済政策が優先…沖縄民意、悩み抜き 朝日新聞デジタル 2018年10月1日 00時10分



カチャーシーを踊り当選を喜ぶ玉城デニー氏（中央）＝2018年9月30日午後9時35分、那覇市、小宮路勝撮影

時35分、那覇市、小宮路勝撮影



米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古移設を最大の争点に行われた沖縄県知事選。有権者は悩み、揺れながら、それぞれの思いを託した。

宜野湾市の食品卸売業、砂川大介さん（36）は、玉城デニー氏に投票した。前回の知事選では辺野古の埋め立てを承認した仲井真弘多（ひろかず）氏に入れたが、この4年間で沖縄の意見を聞こうとしない政権の姿勢に反感が募った。

高校進学のため離島から宜野湾市に来て約20年。普天間飛行場の騒音には慣れてきたが、それでも「うるさい」と思う。米軍ヘリの墜落や部品の落下事故もあり、身の危険を感じる。

普天間飛行場の返還は強く願うが、辺野古移設には疑問が強まった。「宜野湾市民は良くて、名護市民が困る。県民が困ることに変わらない」

普天間飛行場の移設先とされる名護市。中学校教諭の宮城直介さん（45）も玉城氏に投票した。これまでも、選挙のたびに移設反対の候補に投票してきた。

父親から戦争体験を聞いたことがある。3歳ぐらいの妹が栄養失調で亡くなったこと。戦火を逃れるためランドセルを背負ったまま山を走ったこと。4人の息子たちには、そんな経験をさせたくないと思う。「基地は戦争の傷痕。宜野湾市にあってほしくないし、名護市に来てほしくもない」

北谷（ちやたん）町の会社員、前原紀子さん（39）も玉城氏を支持した。シングルマザーとして中学3年から4歳まで3人の子を育てる。昨年12月、普天間飛行場に隣接する普天間第二小学校にヘリの窓が落ちた事故は、我がことのように胸に迫った。

ただ、米軍の存在は否定しない。父は沖縄、弟は神奈川県内の米軍関係施設で働く。「いいアメリカさんもいる」。投票のたび基地への賛否で揺れた。

玉城氏に投票したのは、政府と対立を続け、がんで亡くなった翁長氏の後継候補だから。自身もがんを患い、今も定期検診に通う。

「翁長さんは命を削って物言う姿勢を貫いた。玉城さんにもその心意気があると思う」。政府と緊張関係を保つことが米軍の監視にもつながると考えている。

一方、糸満市の飲食店経営男性（36）は佐喜真淳氏に

投票した。「玉城さんだと『基地問題が最優先』という政治が続いてしまう。一度リセットしたほうがいい」と思ったからだ。

高校卒業後、東海地方の自動車工場で期間工として働いた。沖縄出身の同僚には、借金返済のための出稼ぎ者もいた。今も周りには経済的に苦労する母子家庭もある。「僕らから下の世代にとって貧困ってリアル。基地ってそれより大事な問題ですか」。平和運動に熱心な親族から玉城氏への投票の呼びかけがあったが、あいまいな返事を続けた。

那覇市の予備校生、新垣黎さん（18）も佐喜真氏に投票した。投票前に基地問題の様々な意見を取り上げた動画を見た。「反対を繰り返しても普天間返還は進まない」という指摘に納得できた。今、大学進学に向けて勉強中。条件のよい奨学金が得られるか不安だ。「基地よりも身近な生活に関わる政策を優先して」。生まれて初めての一票に、そんな願いを込めた。

佐喜真氏に投票した宜野湾市のデイサービス会社事務員、諸見里裕子さん（34）は、ぎりぎりまで迷った。長女（6）は今春、米軍ヘリの窓が落下する事故が起きた普天間第二小に入学。校庭の屋根つき避難所にたびたび避難している。

辺野古移設には反対。だが、「暮らし最優先」を掲げる佐喜真氏への期待が上回った。移設問題解決に向けた具体的な道筋が少しでも見えていたら玉城氏に入れたらと思う。

一票を投じた有権者の思いは

◆玉城氏に投票

南風原町 主婦 知念由紀子さん（77）

自宅上空を米軍機が飛ぶ。辺野古移設は本当の解決にならない

宜野湾市 元米軍基地従業員 岸本恵昭さん（80）

米軍に敵意はないが、これ以上の基地負担はいらない

豊見城市 元教師 宮城幸江さん（66）

翁長氏の遺志を継ぎ、ひるまず国と向き合えるリーダーが必要

浦添市 無職 具志春香さん（35）

辺野古移設への賛否を示さない佐喜真氏に怒りを覚えた

那覇市 自営業 岩瀬多枝さん（64）

自民党の大物が連日沖縄入りする佐喜真氏陣営の戦い方が不愉快

那覇市 観光業 40代女性

経済より基地を重要視した。だが、玉城氏も具体的な展望は示せていない

◆佐喜真氏に投票

豊見城市 保険代理店社員 新垣秀典さん（33）

普天間飛行場の地元市長だった佐喜真氏なら事態を打開できる

うるま市 会社員 女性（63）

基地問題は政府に任せるしかない。国との連携が大事だ

北谷町 会社員 女性 (33)

正直、基地問題に疲れた。県民所得を300万円に上げる訴えに魅力を感じた

南風原町 会社員 男性 (40)

基地問題はお互い意地になっている。玉城氏が勝てば膠着(こうちやく)が続く

浦添市 元県職員 男性 (75)

辺野古移設反対だが、沖縄の経済発展が期待できる。苦渋の選択

那覇市 中学教諭 男性 (29)

貧困家庭が目立つ。基地問題より経済やくらしの政策が優先だ

「基地解決を」「経済に期待」沖縄、新知事に託す思い 沖縄の選択 2018

日経新聞 2018/9/30 20:01

「基地問題を終わらせて」「経済活性化に期待する」。30日に投開票日を迎えた沖縄県知事選。米軍普天間基地(宜野湾市)の名護市辺野古への移設の是非などを巡り、前宜野湾市長の佐喜真淳氏(54)と、前衆院議員の玉城デニー氏(58)が事実上の一騎打ちを演じた。有権者は様々な思いを胸に一票を投じた。



沖縄県知事選に投票する有権者(30日、那覇市役所)

一部で投票日が繰り上げられるなど、選挙戦にも大きな影響を与えた台風24号が過ぎ去り、県内では30日昼ごろから次第に雨が上がって晴れ間ものぞいた。午前こそ人影がまばらだった各地の投票所には、午後になると次々と有権者が訪れた。

■名護市

辺野古で40年以上、飲食店を経営する女性(74)は佐喜真氏に一票を投じた。地元は長年、国と県の対立に翻弄されてきた。「早く基地問題が終わってほしい」と疲労感をにじませた。

調理師の男性(36)も佐喜真氏を支持。「周りには『飲むお金もない』と言っている人もいる。基地は要らないと思うが、暮らしの問題が最優先だ」と話した。

名護市に生まれ育った女性会社員(31)は「移設工事を止めるのは難しいかもしれない。でも『反対』の意思表示はしないと」。玉城氏に投票し「自然を壊してまで新基地を造る必要があるのか」と疑問を呈した。

■宜野湾市

普天間基地近くに住む建設業の女性(46)は玉城氏に一票。米軍機の騒音に悩まされ「県外移設」の思いを日々強くしている。「経済政策はどちらが知事になっても力を入れる」と思い、純粹に基地への考え方で選んだ」と話した。

大学事務職を定年退職した男性(60)は佐喜真氏を選んだ。自宅は基地から200メートルほど。学校の真上を飛ぶ米軍機を見るたびに「危険性の除去が先だ」と痛感する。「辺野古の工事が進まないと、普天間返還も進まない」と訴えた。パートの男性(70)は「辺野古の人たちに、基地を押しつけるわけにはいかない」と玉城氏に投じた。輸送機オスプレイが通過すると自宅のテレビ画面が乱れるなど生活に支障はある。だが「人が少ないところだから基地を移設して良いわけではない。迷惑施設であることに変わりはない」と強調した。

■那覇市

那覇中心部の市役所の投票所には午後から続々と有権者が集まった。佐喜真氏に投じた大学4年の男性(22)は県内で就職活動中で「県民所得の底上げが必要。佐喜真氏の訴えは具体的で現実味があった」と話した。

保育園勤務の看護師の40代女性は玉城氏を選んだ。働きづめの母親や、家計が苦しく保育園に子供を預けられない人も多く見てきた。「子供を安心して育てられる沖縄にしてほしい」と話した。

「翁長が命がけで…」妻の言葉、玉城氏陣営を後押し 朝日新聞デジタル 2018年9月30日 21時57分



家族で投票所に

向かう玉城デニー氏=2018年9月30日午前11時5分、沖縄県沖縄市、小宮路勝撮影

示された民意は再び、「辺野古ノー」だった。米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の名護市辺野古移設の是非が問われた知事選。先の見えない課題に閉塞(へいそく)感も広がるが、玉城デニー氏(58)が安倍政権が推す候補を退け、故翁長雄志氏の遺志を引き継いだ。

「翁長知事が『これ以上もう新しい基地は造らせない』という言葉、思いを、命を削って全うしようとしたことが、県民の気持ちにしっかりと宿っていた。その気持ちが私を後押ししてくれた」。当選確実の知らせを受けて玉城氏は報道陣にそう語った。

立候補表明は8月末。翁長氏を支えた共産や社民、労働組合や一部企業で構成する「オール沖縄」勢力が擁立へと一気に動いた。

ただ、告示3日前の政策発表会見で、翁長氏の代名詞だった「オール沖縄」に触れなかった。選挙戦当初は、「辺野古反対」の訴えも、貧困対策や経済振興の後景に退いた。運動組織「オール沖縄会議」は、保守層や経済界の一部が離脱。共産や社民などの革新勢力が中心となり、反対を前面に出す革新色を薄める必要に迫られた。「辺野古の工事が進む現実があるなか、基地問題に関心が薄い若い世代には響かない」（陣営関係者）との判断もあった。

だが「『辺野古反対』を強く言わずに翁長氏の後継と言えるのか」といった支援者からの不満も出始め、終盤は「思想信条を超えて一つに」と翁長氏の言葉をなぞって、オール沖縄の理念を訴え、「辺野古阻止」を改めて強調した。

違いを見せたのは、米兵を父に持つ生い立ちに根ざす訴え。自身を「戦後の沖縄の象徴的存在」と位置付けたほか、「多様性」「だれ一人取り残さない政治」をキーワードにして、次世代の知事像も演出した。

「どうすれば」揺れた翁長氏

沖縄の新しいリーダーとなる玉城氏。引き継ぐと訴えた「翁長雄志知事の遺志」とは何か。

玉城氏陣営が9月22日に那覇市で開いた集会。雨の中、壇上に翁長氏の妻樹子（みきこ）さん（62）の姿があった。

「政府の権力を行使して沖縄県…

「辺野古反対」沖縄県民の意思表示 新知事に玉城氏

朝日新聞デジタル 2018年9月30日 20時07分



「ガンパロー」と拳を突き上げる支持者たち＝2018年9月13日午前11時7分、沖縄県、小宮路勝撮影（のぼりなどにモザイクをかけています）

伊東聖・那覇総局長

伊東聖・那覇総局長

沖縄県民は4年前と同じく、辺野古移設に明確に反対している候補を選んだ。「沖縄に新たな基地はこれ以上いらない」という意思表示だと言える。

沖縄知事に玉城氏初当選 政権支援の候補破る

「辺野古が唯一の選択肢」。米軍普天間飛行場の移設先について、安倍政権はそう繰り返して工事を進め、海域の一部は護岸によって囲われた。そんな状況の中での知事選だった。

佐喜真淳氏は、政権との「対立と分断」から協調路線に転じると訴えた。その政権は、翁長雄志知事の「辺野古反対」との訴えを無視し続けてきた。「沖縄に寄り添う」と言いながら、知事就任直後の翁長氏に面会せず、振興予算を減らし、米軍機のトラブルが続いても飛行を止められなかった。

玉城デニー氏が知事になっても、状況は変わらないだろう。多くの県民がそう感じながら、玉城氏を選んだのはなぜなのか。

佐喜真氏は、選挙戦で辺野古移…

【タイムライン】沖縄県知事選、本紙編集委員らが解説

朝日新聞デジタル 2018年9月30日 23時38分

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古への移設計画の是非が最大の争点となった沖縄県知事選で、前衆院議員の玉城デニー氏（58）が、前宜野湾市長の佐喜真（さきま）淳（あつし）氏（54）＝自民、公明、維新、希望推薦＝ら3氏を破り、初当選を確実にした。翁長雄志知事の急逝に伴う知事選で、玉城氏は翁長氏の後継候補として選挙戦に臨んだ。

午後8時過ぎ

当選確実の報道に歓声

前衆院議員の玉城デニー氏は午後7時58分ごろ、拍手に迎えられて支援者が集まる那覇市内の会場に入った。午後8時に朝日新聞などが玉城氏の当選確実を報じると、支援者ら約100人は、ワーッと歓声を上げた。

会場の最前列中央に座った玉城氏は、ほっとした様子で、フッと上を向いて息を吐き出す場面もあった。

朝日新聞の堀江編集委員

「無党派層の7割が玉城氏」

朝日新聞の堀江浩編集委員は、沖縄県内の投票所で有権者の投票行動について聞き取った出口調査で、全体の4割を占める無党派層の7割が玉城氏に投票したと紹介した。

「玉城氏が無党派の支持をかなり集めた印象」と話した。

政党支持層別の投票行動についても分析。自民支持層については「2割が玉城さんを支持した。組織をまとめ切れなかったと言い切れない状況」と指摘。公明支持層についても「佐喜真氏には7割少し。公明の組織とすると低い方で、玉城さんに2割台が流れている」と示した。自公が総力を挙げたが、一定の支持者が玉城さんに投票したという。

性別、年代別に関しては「玉城氏は比較的女性の支持が多かった。年代別では幅広く支持を集めた」と分析した。

ジャーナリストの屋良さん

「党派色を消した作戦が奏功」

沖縄タイムス元論説委員でジャーナリストの屋良朝博さんは「自民と公明の支持が割れたのが象徴的。公明がこんなに割れるとは。沖縄の選挙の場合、東京が主導した選挙戦をすると、うまくいかないということが続いていた。党

派色を消したデニーさんの作戦が功を奏したのかもしれない」と話した。

沖縄タイムスの大野キャップ

東京からの応援「しらけた部分も」

沖縄タイムスの大野亨恭キャップは選挙戦を振り返って「沖縄の選挙は基地問題がメインテーマになり、今回は辺野古移設計画を是とするのかどうかだったが、佐喜真さんは辺野古について明言しなかった点が残念だ」と話した。

自民・公明の組織選挙については「東京から国会議員がたくさんきて支持を訴えたが、しらけてしまった部分があった」と指摘した。

当選確実となった玉城氏については「翁長知事の遺志を継ぐ事実上の後継者。辺野古の新基地建設で国と対峙（たいじ）するのはエネルギーが必要で大変なことで、ぶれずにやっていかないと今回投票した人の反発も起きかねない」との見方を示した。

ジャーナリストの屋良さん

「政府と沖縄の民意が対立」

屋良朝博さんは、沖縄県知事選は基地問題が十分に議論されなかったと指摘した。「県民にモヤモヤが広がっている。辺野古しか選択肢がないのか、別の解決策が見いだせるのではないか、そういった議論をやるべきだった」

対立か対話か、も今回の選挙で問われたが、「沖縄の人が対立しているのではない。政府と沖縄の民意が対立している。沖縄に基地を集中させているのも政府の責任。対話をする相手は誰か。基地を押しつけている政府だ」との考えを述べた。

政治部の松村デスク

与党側は非常に厳しい受け止め

朝日新聞政治部の松村愛デスクは、政府・与党の受け止めについて「佐喜真氏を推薦した与党側は非常に厳しく受け止めているようだ。自民と公明は徹底した組織戦を展開し、安倍総裁が3選を決めた直後の選挙。なんとしても沖縄で佐喜真氏を当選させ、臨時国会に向けて政権運営に弾みをつけたい狙いもあった」と紹介した。

玉城氏については「自由党の幹事長を務めてきたが、少数野党の幹事長で国会で存在感がそれほど大きかったわけではない。これから沖縄県知事として官邸に出入りすることになり、沖縄県の民意を代表する立場になる。一言が非常に重みを持つてくる」と話した。

「唯一の解決策」変わらず＝辺野古移設への影響注視—米

【ワシントン時事】30日の沖縄県知事選で米軍普天間飛行場の名護市辺野古への移設反対を掲げる玉城デニー氏が勝利したことについて、米政府は冷静に受け止めている。だが、反対運動が再び勢いづくことで、移設工事の進展に影響が出ないか注視しているもようだ。

オスプレイ横田に正式配備＝5機、沖縄以外で初—米軍

米務省の当局者は取材に対し、「玉城氏の勝利にお祝い申し上げる。米政府は、日米同盟とわれわれの安全に対する沖縄の貢献を深く尊重している」とコメントした。

沖縄では2月の名護市長選や4月の沖縄市長選で政府・与党が推す候補が勝利。米識者からは、故翁長雄志知事が率いた移設反対の「オール沖縄」運動が、「行き詰まりつつある」という見方も出ていた。

玉城氏の勝利について、元務省職員でジョーンズ・ホプキンス大学のウィリアム・ブルックス非常勤教授は「翁長氏から引き継いだ『反対戦術』以上のものはないように見える。今の難しい状況にほとんど変化はない」とみる。

北朝鮮が非核化に進んでいくか不透明な中、トランプ政権としても、移設問題を含め東アジア戦略を抜本的に見直すのは困難とみられる。ブルックス氏は「日米両政府に辺野古移設を断念させる要素は見当たらない」と指摘した。

(時事通信 2018/10/01-01:30)

移設引き続き進める、自民 辺野古反対派の玉城氏当選で
共同通信 2018/9/30 23:37

沖縄県知事選で30日、米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古への移設に反対する前衆院議員玉城デニー氏が、移設を推進する安倍政権が支援した前宜野湾市長佐喜真淳氏を破ったのを受け、自民党は「(移設に)取り組まなければならない」（塩谷立選対委員長）として、結果にかかわらず移設を引き続き進める考えを示した。野党は「新基地建設を直ちに中止すべきだ」（志位和夫共産党委員長）と対決姿勢を鮮明にした。

自民党の二階俊博幹事長は「残念な結果となった。県民の審判を厳粛に受け止め、敗因をよく分析し、県民の期待に応えられるよう努力していきたい」との談話を発表。

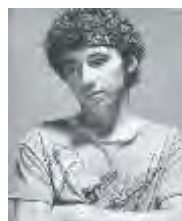
「ハーフ」、いじめ、ラジオDJ... 玉城デニーさんが政治を志したワケ 「弱い立場の人のために」

沖縄タイムス 2018年9月30日 22:15

「社会の負の側面を見てきたからこそ、困っている人や社会的に弱い立場の人のために、できることがあると思い、きょうまでやってきた」――。沖縄県知事選挙で初当選を確実にした玉城デニーさん。昨年10月の衆院選時に、政治家を志したきっかけなどを聞いた記事を再掲します。

(2017年10月19日掲載「マイ・ロード～私が政治を志したワケ」)

社会的弱者を守りたい 玉城デニーさん (58)



ラジオDJになる前の玉城さん。福祉関係の仕事を辞めライブハウスで歌っていた＝1983年



好きなものや夢中になれることを見つけ「自分を信じてひた向きに頑張れば夢はかなう」と話す玉城デニーさん

30代後半に、琉球大学の公開講座で地方自治の授業を受けたのが、政治に興味を持ったきっかけ。当時はラジオDJやタレント活動をしていたが、政治の可能性や面白みに触れ「人生を人のためにささげる仕事がしたい」と思った。

政治家になるにはどうすればいいか。周囲に相談していたところ、2002年の沖縄市長選に出馬するという記事が新聞に出た。ラジオの仕事は失ったが、政治の道へ進む一つの転機になった。市長選には出馬しなかったが、その後、沖縄市議選で当選し、政治家としてスタートを切った。

子どもの頃は「ハーフ」という理由で奇異の目で見られ、いじめられた。母子家庭で育ち、貧困も経験した。「社会の負の側面を見てきたからこそ、困っている人や社会的に弱い立場の人のために、できることがあると思ひ、きょうまでやってきた」

つらいとき、心の支えになったのは音楽。今でも音楽が好きで、おじさんバンドを組んでいる。好きなことや夢中になれることがあれば、逆境を乗り越える力になる。若い世代には「夢中になれるものを見つけたら、その気持ちを一生大切にしてほしい」と願う。

子どもや若い世代が夢を持ち、可能性を広げるためには、平和な未来が保障され、かつ経済が発展していくことが重要だと訴える。「平和と経済は切り離して考えるものではなく、両立できるもの」。その環境を実現するため、ぶれずに行動していく。(社会部・松田麗香)



ラジオパーソナリティ時代の玉城デニーさん＝1996年1月

野党共闘に期待感も、沖縄県知事選で野党系勝利

日経新聞 2018/9/30 21:54

立憲民主党など野党5党は故翁長雄志知事の「弔い」を強調する戦術で足並みをそろえ、裏方での支援に徹した。2019年夏には参院選がある。野党内では政党色を抑えた今回の選挙協力の成功で野党共闘への期待感が広がる見通しだ。

立民の福山哲郎幹事長は「政府与党は沖縄への対応を猛省すべきだ。埋め立て工事の再開は到底あってはならない」との談話を発表した。共産党の志位和夫委員長は「安倍政権に対する痛烈な審判となった」とのコメントを出した。野党5党は玉城氏への推薦や支持を見送り、企業・関係団体回りや秘書の派遣などで支援した。米軍普天間基地の名護市辺野古への移設に反対する政党や労働組合、企業など地元の枠組みを支えた。共産党の志位氏は「国政野党としては足並みをそろえて『オール沖縄』をサポートすることが大事だ」と語っていた。選挙戦で同党を含めた野党各党ののぼり旗はほとんど見かけなかった。

与野党対決だった6月の新潟県知事選では野党5党が推薦を決めた。党首がそろって街頭演説に立ち、共闘を前面に出したことも敗因の一つとみられた。今回、各党のカラーを抑える戦いをした背景には新潟での経験があった。自由党の小沢一郎共同代表は「これで勝ると随分違う」と繰り返し、選挙期間中に何度も現地に入った。同党の衆院会派は小沢氏と玉城氏の2人しかいなかった。にもかかわらずその1人の玉城氏の県政転出を認めたのは、勝利した場合の国政への影響を考えたからだ。

来夏の参院選では勝敗を決するといわれる改選定数1の32の選挙区で与野党一騎打ちの構図になる。そのうち野党系で地盤がある現職は3人だけだ。一方で共産党は1人区で公認候補の内定を進めており、各党間で野党統一候補の擁立に向けた協議は進んでいない。今回の勝利で参院選1人区での共闘の議論が加速するかが焦点になる。

産経新聞 2018.9.30 23:23 更新

【沖縄県知事選】共産・志位和夫委員長「歴史的勝利」



共産党の志位和夫委員長（春名中撮影）

共産党の志位和夫委員長は30日夜、沖縄県知事選で支援した玉城デニー氏の当選を受けて「急逝された翁長雄志知事の意志を引き継ぎ、沖縄県民がかちとった歴史的勝利だ」とする談話を発表した。

また「官邸が主導し、国家権力を総動員して県民の民意をおしつぶそうとした安倍晋三政権に対する強烈な審判ともなった」とも強調し、辺野古移設の中止を訴えた。

沖縄県知事選 玉城氏所属の自由党・小沢一郎代表「沖縄のあるべき姿訴えた」

産経新聞 10/1(月) 0:04 配信



小沢一郎代表（飯田英男撮影）

自由党の小沢一郎代表は30日夜、沖縄県知事選で党幹事長の玉城（たまき）デニー氏が当選したことを受け「翁長雄志（おなが・たけし）知事の心をしっかりと受け継ぎ、沖縄のあるべき姿を訴えかけた姿勢が多く、多くの県民に理解された」との談話を発表した。

玉城氏が米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古移設阻止を掲げたことを踏まえ「基地問題についてはっきりとした民意が示された。国はこのことを重く受け止め反省し、しっかりと沖縄県と向き合って解決のため力を尽くすべきだ」と指摘した。

沖縄県知事選 立憲民主・福山哲郎幹事長「辺野古撤回の県民意志が明確に」

産経新聞 2018.9.30 22:16



立憲民主党の福山哲郎幹事長は30日、沖縄県知事選で支援した玉城デニー氏が当選したのを受けて「辺野古新基地建設撤回を支持する県民の意志が改めて明確となった」との談話を発表した。

また「政府・与党は、知事選における沖縄県民の選択に真摯に向き合い、沖縄への対応を猛省すべきだ。県民の意志に反する安全保障政策に有効性はなく、政府与党の都合を沖縄に押しつける手法はもはや通用しない」とも強調した。

沖縄県知事選 社民・吉川元（はじめ）幹事長「安倍政権は辺野古移設断念を」

産経新聞 2018.9.30 23:29



社民党の吉川元（はじめ）幹事長は30日夜、沖縄県知事選で支援した玉城デニー氏の当選を受けて談話を発表した。玉城氏が米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古移設阻止を掲げたことを念頭に「安倍晋三政権は辺野古移設を断念し県民が平和に生きる権利の具体化に努めるべきだ」とした。

知事選での野党共闘を踏まえ「次期参院選での野党共闘の推進に取り組んでいく」とも強調した。

産経新聞 2018.9.30 22:03

国民民主・玉木雄一郎代表 辺野古移設「沖縄の民意尊重を」



国民民主党の玉木雄一郎代表は30日夜、沖縄県知事選で支援した玉城（たまき）デニー氏の当選が確実になったことを受けて談話を発表した。米軍普天間飛行場（宜野湾＝ぎのわん＝市）の名護市辺野古移設阻止を玉城氏が掲げたことを念頭に「沖縄の民意を尊重し、政府において、強引に手続きを進めることがないように県との丁寧な話し合いを行うことを求める」とした。

産経新聞 2018.9.30 22:44 更新

【沖縄県知事選】安倍晋三首相、自民推薦候補敗北に「残念だが仕方ない」



安倍晋三首相＝21日、首相官邸（春名中撮影）

安倍晋三首相は30日、自民党の塩谷立（しおのや・りゅう）選対委員長と電話し、沖縄県知事選の結果について「残念だが仕方ない」と述べた。

産経新聞 2018.9.30 21:57 更新

【沖縄県知事選】与党系敗北に自民・二階幹事長「残念な結果」



自民党の二階幹事長＝8月30日、北京（共同）

自民党の二階俊博幹事長は30日、沖縄県知事選の結果について「残念な結果となった。沖縄県民の審判を厳粛に受け止め、敗因をよく分析し、県民の期待に応えられるよう努力していきたい」との談話を発表した。

産経新聞 2018.9.30 22:23 更新

【沖縄県知事選】公明・斉藤鉄夫幹事長「敗因は知名度不足」



公明党の斉藤鉄夫幹事長（飯田英男撮影）

公明党の斉藤鉄夫幹事長は30日夜、沖縄県知事選で、推薦した佐喜真淳氏が敗北したのを受けて談話を発表し、「大変に残念だ。敗因は知名度不足と佐喜真候補の人柄、能力、実績を全県に浸透させる時間がなかったからだ」とした。

その上で「新知事には県民生活の向上、普天間基地の危険除去という佐喜真候補が訴えた政策も考慮に入れた県政を望みたい」とした。

沖縄県知事選 希望の党・松沢成文代表「玉城氏は普天間の危険性除去の代替案を」

産経新聞 9/30(日) 23:57 配信



希望の党の松沢成文代表（斎藤良雄撮影）

希望の党の松沢成文代表は30日夜、沖縄県知事選で推薦した佐喜真淳（さきま・あつし）氏が敗れたことを受け「ご期待に沿えなかったことを深くおわび申し上げる」との談話を発表した。

当選した玉城（たまき）デニー氏が米軍普天間飛行場（宜野湾市）の名護市辺野古移設阻止を掲げたことを踏まえ「玉城氏が県民の総意に基づく県政に邁進（まいしん）することに期待し、普天間の危険性の除去についての具体的な代替案を提示することを望む」と求めた。

沖縄県知事選 日本維新・馬場伸幸幹事長、推薦候補敗れ「厳しい結果」

産経新聞 9/30(日) 22:04 配信



日本維新の会の馬場伸幸幹事長（彦野公太郎撮影）

日本維新の会の馬場伸幸幹事長は30日夜、沖縄県知事選について「厳しい結果となった。選挙結果を沖縄県民の民意として厳粛に受け止めたい」とする談話を発表した。

談話は「沖縄の問題は基地問題だけではない。新知事には、経済政策や暮らし、子育て支援など県民の目線に立った県政運営を望みたい」ともした。

県議補選うるま市区は山内末子氏が当選

琉球新報 2018年10月1日 02:17



山内末子氏

県議会議員の欠員に伴う県議補選は一部地域を除き知事選と同日の30日に投票され、同日開票された。欠員1が生じていたうるま市区は前県議で県政与党が推す山内末子氏（60）が新人でラジオパーソナリティーの伊波かおり氏（40）＝自民公認、公明、維新推薦＝を破り、当選した。

補選の結果、県議会（定数48）の与野党構成は与党が26議席（議長除く）となり引き続き過半数を維持した。野党自民は14議席となる。【琉球新報電子版】

県議補選石垣市区は大浜一郎氏が当選

琉球新報 2018年10月1日 02:12



大浜一郎氏

県議会議員の欠員に伴う県議補選は一部地域を除き知事選と同日の30日に投票され、同日開票された。

欠員1が生じていた石垣市区は、会社経営の大浜一郎氏（56）＝自民公認、公明、維新推薦＝が県政与党系で会社経営の金城利憲氏（63）、同じく与党系で前石垣市議の崎枝純夫氏（63）を破り、初当選した。

補選の結果、県議会（定数48）の与野党構成は与党が26議席（議長除く）となり引き続き過半数を維持した。野党自民は14議席となる。【琉球新報電子版】

宜野湾市長は松川正則氏 仲西春雅氏に5239票差

市政を継承へ

琉球新報 2018年9月30日 23:23



宜野湾市長選に当選し花束を受け取る松川正則氏＝30日午後11時23分、宜野湾市普天間

県知事選に出馬した前職の辞職に伴う宜野湾市長選は9月30日、投開票され、前市政の継承を訴えた無所属新人で前宜野湾市副市長の松川正則氏（65）＝自民、公明、維新推薦＝が2万6214票を獲得し、初当選を果たした。対立候補となった無所属新人で県高校PTA連合会会長の仲西春雅氏（57）＝社民、共産、社大、自由、国民民主、立民推薦＝に5239票差をつけた。

投票率は64・26％で、16年の68・72％を4・46ポイント下回った。

松川氏は、県知事選に出馬した前市長の佐喜真淳氏（54）とのセット戦術で、基地跡地利用や子育て、経済振興など佐喜真市政の実績を強調し、市政の継承を掲げたことが奏功した。

辺野古移設の賛否については明言を避けたものの、普天間の一日も早い閉鎖返還や危険性の除去を訴えたことも支持を広げた。

仲西氏は候補者人選の難航による出遅れが響いた。

宜野湾市の当日有権者数は7万5415人（男性3万6128人、女性3万9287人）。【琉球新報電子版】

松川正則氏が当選確実 宜野湾市長選 自民、公明、維新推薦

沖縄タイムス 2018年9月30日 22:38

米軍普天間飛行場問題を最大争点に、暮らしや街づくりのあり方が問われた沖縄県の宜野湾市長選が30日投開票され、政府与党の支援を受けた無所属新人で前副市長の松川正則氏（65）＝自民、公明、維新推薦＝が当選確実を決めた。

松川氏は前市政の継承・発展を主張の柱に選挙戦を戦った。普天間問題では、名護市辺野古の新基地建設については賛否を示さず、飛行場の早期閉鎖・返還、固定化阻止を訴えた。

宜野湾市長は自公系＝沖縄

沖縄県知事選に立候補した佐喜真淳前宜野湾市長の辞職

に伴う同市長選は30日投開票され、無所属新人で前副市長の松川正則氏（65）＝自民、公明、維新推薦＝が、無所属新人で県高校PTA連合会会長の仲西春雅氏（57）＝立憲民主、国民民主、共産、自由、社民推薦＝を破り、初当選した。松川氏は佐喜真氏の後継。市長選では自公系が勝利し、知事選とは「ねじれ」の結果となった。（時事通信 2018/09/30-23:14）

宜野湾市長に政権支援の前副市長 知事選と同様、辺野古移設争点

共同通信 2018/9/30 23:34

前市長の沖縄県知事選立候補に伴う宜野湾市長選が30日投開票され、安倍政権が支援する前副市長松川正則氏（65）＝自民、公明、維新、希望推薦＝が、市中心部にある米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設に反対する県高校PTA連合会会長仲西春雅氏（57）＝立民、国民、共産、社民、自由、沖縄社大推薦＝を破り、初当選した。投票率は64.26％。

市長選は、同日選となった知事選と同様、辺野古移設を争点に、無所属新人2氏による一騎打ちの構図だった。

松川氏は、普天間飛行場の早期返還を求める一方で、辺野古移設の是非については言及を避け、前市政の継承や発展を訴えた。

沖縄・宜野湾市長選、安倍政権支援の松川氏が初当選

朝日新聞デジタル 2018年9月30日 22時58分

米軍普天間飛行場を抱える沖縄県宜野湾市長選が30日投開票され、いずれも無所属新顔で、前副市長の松川（まづがわ）正則氏（65）が前県高校PTA連合会長の仲西春雅氏（57）を破った。

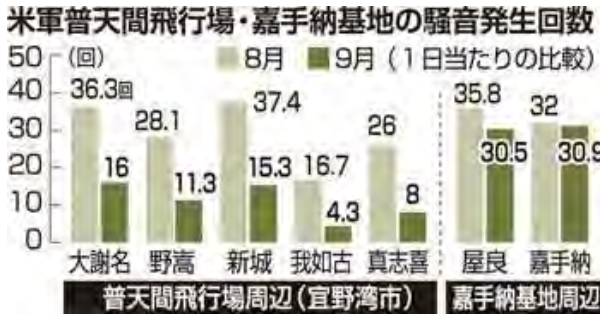
市長だった佐喜真淳氏（54）が知事選に立候補したことに伴うもの。当日有権者数は7万5415人、投票率は64・26％で、前回の68・72％を下回った。

松川氏は佐喜真氏の後継として、自民、公明両党と日本維新の会の推薦を受け、安倍政権が支援。普天間の「一日も早い閉鎖、返還」を主張し、街頭演説などで佐喜真氏と連動した選挙戦を展開した。普天間の名護市辺野古への移設には賛否を示さず、雇用の拡大や観光政策の充実、子育て支援などを訴えて支持を広げた。

仲西氏は立憲民主、国民民主、共産、社民、自由、沖縄社会大衆の各党の推薦を受け、「名護市民に（宜野湾と）同様の負担を強いられない」と「辺野古反対」を強調。翁長雄志（おながたけし）知事の後継として知事選に立候補した前衆院議員の玉城デニー氏（58）との連携をアピールしたが、及ばなかった。

米軍機騒音、9月減 普天間・嘉手納、県外で訓練

琉球新報 2018年9月30日 12:28



米軍普天間飛行場と嘉手納基地周辺で沖縄県などが実施する騒音測定調査によると、9月に入り騒音発生回数が減少している。普天間に近い宜野湾市新城で1日当たりの騒音発生回数が8月の37.4に対し、9月は半分以下の15.3回にとどまった。県外で訓練を実施していることが背景にあるとみられる。

9月の1日当たりの騒音回数は、宜野湾市大謝名で8月の36.3回から16回に、市野嵩で8月の28.1回から11.3回に、市我如古で8月の16.7回から4.3回に、市真志喜で8月の26回から8回に減った。

山口県の岩国基地で米軍機の動向を確認している戸村良人さんによると、普天間所属のヘリやオスプレイは9月14日以降、岩国を拠点に訓練している。米軍のウェブサイト「divids」では東シナ海で訓練の様子が掲載されている。

嘉手納周辺での9月の1日当たりの騒音発生回数は、嘉手納町屋良で8月の35.8回から30.5回に、町嘉手納で8月の32回から30.5回に減少した。

防衛省によると、訓練移転の一環で9月10日から21日まで、嘉手納所属のF15戦闘機12機ほどと人員約290人が米準州グアムのアンダーセン空軍基地などに移っていた。

宜野湾市民、基地負担重く＝米軍機事故や騒音被害一条例制定の請願も・沖縄知事選



米軍ヘリの窓が落下した普天間第二小学校で行われた、落下物からの避難訓練＝9月12日午前、沖縄県宜野湾市

沖縄県知事選では、米軍普天間飛行場(宜野湾市)の名護市辺野古移設の是非が最大の争点となった。普天間基地を抱える宜野湾市では昨年、小学校に米軍ヘリの窓が落下するなどのトラブルが続き、市民の不安は絶えない。事故防止を求め議会に条例制定を請願した住民もいる。

「きょうからは自分自身で考えて行動してください」。基地に隣接し、窓の落下事故が起きた普天間第二小で9月1

2日、米軍機の接近を想定した訓練が行われた。学校では事故後、米軍機が接近すると監視員が児童に避難を指示してきたが、10月からは教員が避難するか判断する。児童はこの日、8月完成した落下物から身を隠す避難所までの経路を確認した。

市が留守番電話で受け付ける「基地被害110番」には2017年度、騒音など458件が寄せられた。日米間では、午後10時から翌6時の米軍機の飛行制限で合意しているが、市民からは「ヘリの音がうるさくて眠れない」などの苦情が相次ぐ。昨年は市内の保育園にも、米軍ヘリの部品が落下したとみられている。



米軍機の事故防止を求める条例制定の請願書を提出した宮城政一さん＝9月19日、沖縄県宜野湾市

事故が起きるたび、県による原因究明までの飛行停止要請を無視して米軍が数日後に飛行を再開する事態が繰り返され、市民は業を煮やしている。普天間基地の近くに住む宮城政一さん(74)らは9月25日、条例制定の請願書を約8600筆の署名を添え、市議会に提出。学校や病院上空の飛行禁止などを米側に要請する規定を盛り込み、実効性のある内容とするよう求めた。

基地は、米軍が役場や学校があった土地を接収して建設され、宮城さんの父の家があった場所も含まれていたという。辺野古移設について、宮城さんは「沖縄の人が同じ苦しみを味わうのは、チムグリサン(心が痛い)」と訴える。

基地の返還合意から22年。「米軍が勝手に取った土地を、辺野古で代替するのはおかしい」と話す宮城さんは、基地の閉鎖を切実に願っている。(時事通信2018/09/30-15:41)

オスプレイ横田に正式配備＝5機、沖縄以外で初＝米軍



米軍施設を離陸するCV22オスプレイ＝4月、横浜市神奈川区

米空軍のCV22オスプレイ5機が1日、米軍横田基地(東京都福生市など)に正式配備された。沖縄県以外の在

日米軍基地へのオスプレイ配備は初めて。低空飛行訓練などを行うとみられ、市街地に隣接する同基地周辺では、抗議活動が行われるなど住民の不安が高まっている。

防衛省によると、2024年ごろまでに計10機と要員約450人が段階的に配備される。今回配備の5機は今年4月、横浜市の米軍施設に陸揚げされて以降、横田基地への飛行を繰り返していた。

5機のうち1機は6月、訓練のため横田基地から嘉手納基地（沖縄県嘉手納町など）に向かう途中、エンジン故障で奄美空港（鹿児島県）に緊急着陸している。

米軍は当初、17年後半に3機を横田基地へ配備するとしていたが、同年3月、19～20年への配備延長を公表していた。その後の東アジア情勢を踏まえるなどし、予定を前倒ししたとみられる。

CV22は、普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）に配備されている海兵隊のMV22と機体の基本性能は同じだが、夜間に低空飛行を行うためのレーダーなど装備が異なる。空軍の特殊作戦など、より過酷な状況での運用が想定されている。

東京都と地元6市町による連絡協議会は9月、配備後の訓練に関する情報提供や安全対策の徹底などを防衛省に要請。「基地周辺住民の不安は解消されたとは言えない」と要請文で言及した。（時事通信 2018/10/01-00:08）

オスプレイ 5機が横田基地配備 米軍、日常的に首都圏飛行

共同通信 2018/10/1 00:13



東京・米軍横田基地で展示された CV22 オスプレイ＝9月15日

米空軍の輸送機 CV22 オスプレイ 5機が1日、横田基地（東京都福生市など）に正式に配備された。海兵隊仕様の MV22 オスプレイが既に駐留する沖縄県の普天間飛行場以外では初。安全面での不安が拭えないままオスプレイが日常的に首都圏を飛行することになり、基地周辺住民を中心に反発が強まっている。

米軍は今後数年間でさらに5機を横田基地に配備し、計10機、約450人態勢で運用する。

防衛省は不透明な北朝鮮情勢や海洋進出を強める中国を念頭に、CV22の配備について「各種事態発生時の対処能力が向上し、日米同盟の実効性を高める」と強調する。

陸自オスプレイは納入延期＝配備先との調整難航

米軍がオスプレイの配備先の拡大を進める一方で、陸上自衛隊も同機の導入を計画している。ただ、配備先の佐賀空港（佐賀市）や、暫定配備を検討する陸自木更津駐屯地（千葉県木更津市）での地元調整が遅れており、今秋にも予定されていた機体納入は延期される見通しとなっている。

防衛省は2021年度までに順次、オスプレイ17機を佐賀空港に配備する計画を進めている。相浦駐屯地（長崎県佐世保市）を拠点とする離島防衛専門部隊「水陸機動団」の輸送など、南西諸島の防衛力を強化する狙いがある。

佐賀県知事は今年8月、国が20年間で着陸料100億円を県に支払うことなどを条件に、計画受け入れを表明。ただ空港脇にある駐屯予定地の整備は、地権者の漁協の合意が得られておらず、着手できていない。

木更津駐屯地にはオスプレイの整備拠点があり、既に米海兵隊が使う機体の整備が行われている。佐賀での施設整備の遅れを受け、防衛省は同駐屯地への暫定配備を検討しているが、自治体や住民の理解を得るには一定の時間が必要と判断したとみられる。（時事通信 2018/09/30-15:16）

オスプレイ、横田基地に正式配備 まず5機

日経新聞 2018/10/1 0:00

米空軍の輸送機 CV22 オスプレイ 5機が10月1日、米軍横田基地（東京都福生市など）に配備された。国内で沖縄県以外への正式配備は初めて。横田基地周辺で人員・物資の降下や夜間飛行などの訓練をする。沖縄県の米軍普天間基地にある MV22 オスプレイは事故やトラブルが相次いでいる。横田基地周辺の自治体や住民から安全性を懸念する声もあがっている。

CV22は空軍の特殊部隊の輸送などに使う。海兵隊の MV22 オスプレイと基本的な構造は同じだが、夜間でも地形を詳しく把握できる装置を備える。2024年ごろには合計10機、要員約450人を配備する計画だ。

もともと米軍は19年10月以降に配備する計画を立てていたが、今年4月に前倒しすると発表していた。正式配備に先立ち今年4月に横田基地に到着していた。これまで周辺国での訓練に参加したほか、首都圏でも飛行を始めている。7月に埼玉県在所沢通信基地に飛来し、7～8月に静岡県にある陸上自衛隊の東富士演習場で訓練した。

東京都や福生市など関連自治体は防衛省に安全対策の徹底と迅速な情報提供を求めている。今回配備するうちの1機は6月、沖縄県の米軍嘉手納基地に向かう途中でエンジンの不具合で鹿児島県の奄美空港に緊急着陸した機体だ。地元の懸念に配慮し、防衛省は米側に安全性の確保を要請している。

「配備反対」「静かな夜を」＝市民運動家らデモー米軍横田基地



オスプレイ配備反対を訴え米軍横田基地前をデモ行進する人々＝30日午後、東京都福生市

在日米軍のCV22オスプレイ正式配備を翌日に控えた30日、反対派の市民運動家ら約60人が横田基地（東京都福生市など）周辺をデモ行進した。「配備反対」「沖縄にも、横田にもいらない」「静かな夜を返せ」などと叫びながら、基地横を通る国道など約3キロを行進した。

行進前の集会で、デモを呼び掛けた横田行動実行委員会の大洞俊之さん（61）は「オスプレイは開発段階の事故で多くの死者を出している。これだけ飛んでいる国は日本だけだ。どこで事故が起きてもおかしくない」と危険性を訴えた。

また、第9次横田基地公害訴訟原告団の福本道夫団長（68）は「オスプレイは民家も、学校も、老人施設も、病院もある所で、（危険な）夜間暗視訓練までやっている。言いようのない憤りを覚える。中止させたい」と話した。

雨が降り出す中、デモ隊は基地の正門「第2ゲート」前でいったん止まり、航空自衛隊航空総隊司令部の担当官らにオスプレイの配備撤回などを申し入れる文書を手渡した。代表5人が米軍側にも同様の文書を手渡そうとしたものの、拒否されたという。（時事通信 2018/09/30-18:08）

米駆逐艦が「航行の自由作戦」＝中国実効支配の南沙付近

【ワシントン時事】ロイター通信が米当局者の話として報じたところによると、米海軍の駆逐艦「ディケーター」が30日、中国が実効支配する南シナ海・南沙（英語名スプラトリー）諸島付近を航行した。中国の過剰な海洋権益主張を否定する「航行の自由作戦」の一環とみられる。

ロイターによれば、駆逐艦は南沙諸島のガベン（南薫）礁とジョンソン南（赤瓜）礁から12カイリ（約22キロ）以内を通過した。中国は南沙に造成した人工島から12カイリ以内を「領海」と見なしており、反発するのは必至だ。（時事通信 2018/09/30-22:24）

米、南シナ海で航行の自由作戦 人工島に接近と報道 共同通信 2018/9/30 23:26

【ワシントン共同】ロイター通信は30日、米当局者の話として、米海軍が、中国が実効支配する南シナ海の名南沙（英語名スプラトリー）諸島周辺で、軍艦を航行させる「航行の自由」作戦を実施したと伝えた。実施日は不明。

作戦は南シナ海の軍事拠点化を進める中国をけん制する

狙い。ジョンソン南礁（中国名・赤瓜礁、ベトナム名ガクマ礁）を埋め立ててできた人工島から12カイリ（約22キロ）内を駆逐艦「ディケーター」が航行したという。

ジョンソン南礁はかつてベトナムが支配。1988年に同礁で起きた中国との武力衝突後、中国が占拠し、人工島の造成や建物の建設を進めている。

米、南シナ海で「航行の自由作戦」 中国へ攻勢強める 朝日新聞デジタルワシントン＝園田耕司 2018年9月30日 23時52分

米海軍駆逐艦が30日、中国が実効支配する南シナ海・南沙（スプラトリー）諸島付近を航行したことが分かった。同日、ロイター通信が米政府当局者の話として伝えた。中国側の反発が予想される。

米海軍のイーゼス駆逐艦「ディケーター」が南沙諸島のガベン礁などの12カイリ内を航行したという。米政府当局者はロイター通信に、「通常の『航行の自由作戦』」と述べた。

米国は最近、南シナ海問題をめぐる中国への攻勢を強めている。9月23、25の両日、グアムから離陸した米戦略爆撃機B52が南シナ海付近を飛行。中国は「挑発行為」と批判していた。（ワシントン＝園田耕司）

竹下総務会長交代へ＝甘利氏要職に起用＝2日に内閣改造・自民人事

安倍晋三首相（自民党総裁）は10月2日、内閣改造・党役員人事を行う。先の総裁選で石破茂元幹事長を支持した竹下亘党総務会長は交代させる意向。一方、自身に近く政策・党務に通じた甘利明元経済再生担当相は党の要職に起用する。

先月30日の沖縄県知事選で与党推薦候補が敗北したが、首相は麻生太郎副総理兼財務相、菅義偉官房長官ら政権の「土台」を維持。党側では二階俊博幹事長を留任させる方針だ。

岸田文雄政調会長も要職に就ける考えで、続投が有力。首相の出身派閥である細田派の塩谷立選対委員長については交代の方向で調整する。非議員の高村正彦副総裁については退任論が出ている。

閣僚の人選に当たり、首相は来年最大の政治決戦となる夏の参院選を見据え、10月下旬召集の臨時国会や年明けからの通常国会を乗り切ることを優先。答弁能力や野党に攻撃の口実を与えないことを重視した守りの布陣を基本とする構えだ。

来年は参院選と統一地方選が同じ年に行われる「亥（い）年選挙」。春の地方選でフル回転した組織が疲弊するため、参院選で苦戦しやすいとされる。

こうした事情から、首相は文部科学省の汚職事件を踏まえ、林芳正文科相の交代を検討。弁護士出身の柴山昌彦筆

頭副幹事長の初入閣などが浮上している。清新さを打ち出すため若手の起用案もある。

首相は10月1日午後1時に公明党の山口那津男代表と会談。山口氏は同党の石井啓一国土交通相の留任を要請し、首相も受け入れる見通しだ。

同日は午前中に新たな党執行部を発足させ、閣議で閣僚の辞表を取りまとめる。午後には新閣僚を順次呼び込み、皇居での認証式を経て第4次安倍改造内閣が発足する。(時事通信 2018/09/30-22:43)

首相、2日に内閣改造・自民人事 知事選敗北受け選対委員長交代論

共同通信 2018/10/1 00:07

安倍晋三首相(自民党総裁)は10月2日、内閣改造と党役員人事を実施する。首相は来年の参院選を見据え、麻生太郎副総理兼財務相や菅義偉官房長官、二階俊博幹事長、岸田文雄政調会長ら政権の骨格を維持する方針だ。30日の沖縄県知事選で与党候補が敗北したのを受け、塩谷立選対委員長の交代論が党内から出た。憲法改正の党内論議を取りまとめる総務会長人事も焦点だ。

首相は1日に公明党の山口那津男代表と党首会談に臨む。翌2日午前の自民党総務会で役員人事を決定。続いて閣議で閣僚の辞表を取りまとめた後、午後には組閣本部を設置。その後閣僚名簿を発表、皇居で認証式を行う段取りを描く。立民、参院比例20人擁立へ 党大会で活動方針採択

共同通信 2018/9/30 19:41

立憲民主党は30日、東京都内で開いた2日目の党大会で、今後1年間の活動方針を採択した。来年夏の参院選を巡り、比例代表で最低20人の立候補を目指し、うち4割以上を女性候補とするのが柱。衆参同日選も視野に、次期衆院選に向けた取り組みを進めることも強調した。

参院選では32ある改選1人区での野党候補一本化に関し「安倍政権を倒すため小異を捨てて野党連携を追求し、全力を尽くす」と明記。複数区には原則として全てで擁立を目指すとした。

「会いに行ける政治家」を前面に 立憲、異色の党大会

朝日新聞デジタル及川綾子 2018年10月1日 02時36分



立憲フェスのトークイベント。(左から)蓮舫参院幹事長、枝野幸男代表、長妻昭政調会長、辻元清美国対委員長はいつものスーツ姿とは打って変わり、カジュアルな服装で登壇した=30日、東京・高田

立憲民主党が、政治家と有権者との距離を縮めようと30日に開いた「立憲フェス」。人気アイドルグループ乃木坂46を応援する枝野幸男代表の趣味を反映し、会いに行けるアイドルならぬ「会いに行ける政治家」を前面に出した、異色の党大会となった。

大型の台風24号の影響で東京都内でも交通機関に影響が出る中、東京・高田馬場のイベントホールで立憲フェスは開かれた。主に参加したのは、年500円の登録料で立憲の政策づくりや活動に参加できる「立憲パートナーズ」。1千人が抽選で選ばれ、そのうち約800人が訪れた。

開場は午前10時50分過ぎ。すでに50人ほどが行列をつくっていた。一番乗りは愛知県岡崎市から来た女性(66)。8時半から並んだと言い、会場となったホールでは最前列に座った。これまで忙しかった家事や子育てが一段落し、政治に興味を持ち始めた。立憲支持ではないが、「1党ずつ順番に話を聞いて判断しよう」と参加を決めた。

フェスは正午に始まった。台風…

結党1年、初の「立憲フェス」 お笑いや飲食コーナーも

朝日新聞デジタル別宮潤一、及川綾子 2018年9月30日 23時14分



立憲フェス会場内のフォトブースで写真におさまる立憲民主党の枝野幸男代表=30日午後、東京都新宿区、飯塚悟撮影

立憲民主党は30日、結党1年となる10月3日を前に、初の党大会「立憲フェス」を東京都内で開いた。結党直後の衆院選で17%あった政党支持率は下落傾向にあるが、枝野幸男代表は「政治はうねり」と強調。外交や経済政策を積み上げて政権担当能力をアピールしつつ、来年夏の参院選に向けて再び勢いを巻き起こそうと呼びかけた。

「野党第1党として政権の選択肢となり、遠からず政権を担う。そして政権を変えたらよいことがあると感じていただける結果を出す。野党第1党代表の私が『ポスト安倍』だ」。枝野氏は演説でこう述べ、政権奪取に強い意欲を見せた。

党大会では「最小の野党第1党から最強の野党へ」とする結党2年目の活動方針を決定。「草の根の力を生かす」として市民とつながりを強めることや、現在は33にとどまる都道府県連を年内に40にすることを挙げた。安倍晋三首相が掲げる憲法9条への自衛隊明記案には「明確に反対し闘う」とした。

参院選に向けては、比例区に20人擁立し、4割以上を女性に。LGBTなど多様性を体現する候補も立てる▽選挙区の1人区は「野党候補の一本化に全力を尽くす」▽改

選2～6人の複数区は「原則、全選挙区で擁立をめざす」とした。

初の党大会は米国の政党の党大会を念頭に、お笑いライブや飲食コーナーを取り入れて「フェス形式」にした。国会議員と党員である「立憲パートナーズ」との交流を図る対話型のワークショップも行った。枝野氏は「参加者が色々なものを共有するお祭りにしたかった」と狙いを語る。

その背景には、支持層の拡大が思うように進まないとの悩みがある。朝日新聞社の世論調査で、ピーク時に17%だった立憲の支持率は5%まで統落。政権に批判的な中高年層に支持が偏っており、若者層や保守層の支持獲得が課題だ。このため党大会では若者層に届くネット発信を強め、現実主義的な外交政策をアピールする方針を確認した。(別宮潤一、及川綾子)

立民 “参院選1人区は野党で候補者1本化を” 活動方針決める

NHK9月30日 18時50分



立憲民主党は、結党後初めての党大会を開き、来年の参議院選挙で安倍政権を退陣に追い込むため、定員が1人の選挙区すべてで野党側の候補者の一本化を目指すなどとした党の活動方針を決定しました。

去年10月の結党後初めての党大会には、国会議員や地方議員などおよそ1500人が出席しました。

この中で枝野代表は、「野党第1党として、政権の選択肢となり、遠からず政権を担いたい。『ポスト安倍』という話が出ているが、野党第1党の党首である私が『ポスト安倍』だ」と決意を示しました。

そして、党大会では、来年の参議院選挙で安倍政権を退陣に追い込むため、定員が1人の選挙区すべてで野党側の候補者の一本化を目指すほか、比例代表では少なくとも20人を擁立して4割以上を女性候補とするなどとした、今後1年間の党の活動方針を決定しました。

あす内閣改造 河野外相ら4閣僚留任へ

NHK2018年10月1日 4時15分

2日の内閣改造を前に、安倍総理大臣は、新たに河野外務大臣、世耕経済産業大臣、茂木経済再生担当大臣を留任させる意向を固めました。また、連立を組む公明党の意向を尊重し、石井国土交通大臣も留任させる方針です。



安倍総理大臣は2日、自民党の役員人事を行ったうえで公明党の山口代表との党首会談に臨み、その後、直ちに組閣本部を設置して第4次安倍改造内閣の人事を行うことにしています。

これを前に、安倍総理大臣は、新たに河野外務大臣、ロシア経済分野協力担当大臣を兼務する世耕経済産業大臣、それに茂木経済再生担当大臣を留任させる意向を固めました。安倍総理大臣としては、2回目の米朝首脳会談が調整されるなど北朝鮮情勢が大きく動く可能性があるほか、北方領土問題を含むロシアとの平和条約交渉、アメリカとの物品貿易協定＝TAGの締結に向けた2国間交渉に万全を期すため、関係する3人を留任させるものと見られます。

また、連立を組む公明党が石井国土交通大臣の続投を希望していることから、これを尊重し、石井大臣も留任させる方針です。

内閣改造をめぐって、安倍総理大臣は、これまでに、麻生副総理兼財務大臣と菅官房長官を留任させることを明らかにしているほか、自民党の役員人事では、二階幹事長と岸田政務調査会長の続投も固めています。

山口公明代表の6選承認 党大会、幹事長に斉藤氏

共同通信 2018/9/30 18:47



公明党の党大会で代表に選出され、幹部と手を取り合う山口代表(左から2人目)＝30日午後、東京都千代田区

公明党は30日、東京都内のホテルで党大会を開き、山口那津男代表(66)の6選を承認した。井上義久幹事長(71)が副代表に就き、後任に斉藤鉄夫幹事長代行(66)を昇格させる新執行部の人事も決まった。山口氏は大会で「安倍内閣を支え、国民の負託に力強く応えたい」と訴えた。安倍晋三首相が唱える憲法9条への自衛隊明記案には「緊急性がない」と慎重姿勢を示した。

2009年の衆院選敗北後に代表に就いた山口氏の6期目がスタートする。任期は2年。党大会後の記者会見で、山口氏は執行部人事の狙いを「世代交代を着実に図る意味が含まれている」と説明した。

公明・山口氏「憲法、平和安全法制とは次元が違う」

朝日新聞デジタル 2018年9月30日 19時54分

山口那津男・公明党代表（発言録）

（「安全保障関連法の時と異なり、憲法改正は自民党と協力しないという理解でよいか」と問われ）それは皆さんの受け止め方だろう。これまでも自衛隊に関する法制度を個別につくってきたが、平和安全法制は今の安保環境のもとにそれらを体系立て、きちんと作り直すという意味でも私は歴史的な作業だったと思っている。

憲法はこういう法律とは次元が違う。与党で行うのは政権、政府がどういう政策を実行するかルールを決めることだから、両党の合意は不可欠だ。（しかし）憲法改正は国会の憲法審査会で決めることなので、必ずしも与党の枠組みが唯一先行すべきものではないと思っている。（30日、記者会見で）

公明党大会 山口代表の6選を承認 幹事長に斉藤鉄夫氏

NHK9月30日 18時45分



公明党は党大会を開き、山口代表の6選を正式に承認するとともに、幹事長に斉藤鉄夫氏を起用するなどとした新しい執行部人事を決めました。

公明党は30日、2年に1度の党大会を開き、山口代表の6選を正式に承認したほか、幹事長に斉藤鉄夫氏を起用するとともに、石田政務調査会長を再任するなどとした新しい執行部人事を決めました。

山口氏は「新たな任期の2年間は、日本の未来を切り開く正念場だ。公明党が果たすべき使命と責任は限りなく重く、引き続き連立政権の一翼として安倍内閣を支え、安定した政権基盤のもと、緊張感を持って国民の負託に応えていきたい」と述べました。

また、来賓として出席した安倍総理大臣は「政権を奪還した時を含め5回連続で国政選挙を勝利しており、山口代表は私にとって必勝のパートナーだ。来年の統一地方選挙や参議院選挙も大きな勝利を目指していきたい」と述べました。

一方、山口氏は安倍総理大臣が意欲を示す憲法への自衛隊の明記について、出席者からの質問に答える形で、「憲法9条の改正が緊急になされるべきだとは必ずしも言えない」と述べ、重ねて慎重な姿勢を示しました。



公明党の党大会で代表に選出され、あいさつする山口代表＝30日午後、東京都千代田区

公明代表 9条改正「緊急ではない」、山口氏6選

日経新聞 2018/9/30 21:00

公明党は30日に開いた党大会で、山口那津男代表の6選を承認した。井上義久幹事長が交代し、後任に斉藤鉄夫幹事長代行が昇格した。2019年の統一地方選や参院選に向け、選挙態勢を刷新した。安倍晋三首相が意欲を示す憲法9条改正では山口氏が「緊急になされるべきだとは必ずしも言えない」と慎重姿勢を示した。



公明党全国大会で6選を承認された山口代表（左）と手を取り合う安倍首相（30日午後、東京都千代田区）

山口氏が代表に就任したのは野党に転落した2009年。1998年の公明党再結成後の代表在職日数は最長だ。任期は2020年9月まで。斉藤氏は政調会長や選挙対策委員長も経験しており、党務に精通している。

山口氏は党大会で15年の安全保障関連法成立に言及。「これをしっかり守っていくことで日本の防衛は対応できる」と述べ、日本の安全保障は現行法で十分対処できるとの考えを示した。優先すべき政治課題を聞く世論調査でも改憲は順位が低いと指摘し、9条改正に慎重な姿勢をみせた。首相は秋の臨時国会に自民党改憲案の提出をめざすと訴え、提出前に公明党と事前に協議する意向を示している。山口氏は「与党での合意形成を先んじて行わなければならないということではない」と、事前の与党協議も改めて否定した。斉藤氏も党大会後の記者会見で「国会で発議するものだから与党、野党という枠組みは意味がない」と語った。党大会に出席した首相はあいさつで「いろんな課題もあるが誠実に真摯に議論していきたい」と述べるにとどめ、改憲には触れなかった。

支持母体の創価学会も9条改正に慎重な立場だ。公明党から首相をけん制する発言が相次ぐのは、19年参院選に向けて改憲が選挙の争点になることを懸念するためだ。

公明党は17年衆院選で解散時勢力と比べ議席を6減らし、現行制度で初めて比例代表の得票数が700万票を割った。19年は同党が国政選並みの態勢で臨む統一地方選と参院選での党勢回復も課題になる。山口氏は記者会見で「来年の選挙は連立政権にとっても大きな試練」と話した。

石田祝稔政調会長は続投させ、参院選などで訴える政策づくりを急ぐ。山口氏は「防災の党として先頭に立つ」と訴えた。防災や認知症対策など、国民生活に密着した課題で

独自色を出す方針だ。石田氏は秋の臨時国会に同党がまとめた認知症施策推進基本法案の提出をめざすと表明した。山口氏は19年参院選に出馬するため、自民党総裁任期が3年伸びた安倍首相のあいだは山口体制が続く可能性がある。自公の連立政権を安定させるため、今後は「ポスト安倍」を注視しながらパイプをつくれるかも焦点になる。党大会と大会後の中央幹事会では他の執行部人事も決めた。北側一雄中央幹事会会長は再任した。副代表には新たに井上氏が就き、留任する北側氏と古屋範子氏の計3人が山口氏を支える。国会対策委員長には高木陽介幹事長代理、選挙対策委員長には佐藤茂樹選対委員長代理を充てた。10月2日の内閣改造では石井啓一国土交通相の留任が固まった。

首相「臨時国会に補正予算案」 公明党大会で

日経新聞 2018/9/30 15:00

安倍晋三首相は30日、都内で開いた公明党大会であいさつし、今秋に召集する臨時国会に2018年度補正予算案を提出する考えを改めて示した。小中学校へのエアコン設置やブロック塀の安全対策への費用を計上すると説明し「(地震や豪雨の)被災地の生活の再建、なりわいの復興と合わせて臨時国会で補正予算を提出する」と述べた。首相が意欲を示す憲法改正については触れなかった。

加藤剛さん、お別れの会に1千人 「カーテンコールを」

朝日新聞デジタル星賀亨弘 2018年9月30日 17時40分



加藤剛さん

のお別れの会の祭壇。出身地の静岡県御前崎市にちなみ、富士山と茶畑をイメージした＝東京都港区

6月に80歳で亡くなった俳優、加藤剛さんのお別れの会が30日、東京都港区の青山葬儀所であった。共演者や所属した劇団俳優座の仲間、ファンら約1千人が参列。次男の俳優、加藤頼(らい)さんの「最後のカーテンコールを」との呼びかけに、全員が万雷の拍手を送り、別れを惜しんだ。

祭壇は、出身地の静岡県にちなみ、花で茶畑と富士山を再現した。テレビ時代劇「大岡越前」が出会いだったという里見浩太朗さんは、弔辞でメイク中に見た横顔にふれ「何て美しい顔の俳優さんなんだろう。まるでギリシャの美男の彫刻を見るようで、ほれ込んでしまいました」と語った。

映画「忍ぶ川」などで共演した栗原小巻さんは「青春のころ、ご一緒に作り上げた作品。剛さんの、強い精神、高潔な意志、今振り返って映像を見ますと、あの頃の作品への感情が呼び覚まされます。決して誰かの、何かのふりをするのではなくて、心で演じていました」と語りかけた。

あいさつで長男の俳優、夏原諒(りょう)さんは、加藤さんが戦後60年の2005年3月に書いたとみられる詩を先日見つけたことを紹介。「もうひなたちが死なないう、毎日心をくわいてください」などと朗読した。(星賀亨弘)

加藤剛さんのお別れ会では、長男で俳優の夏原諒(りょう)さんが、先日見つけたという加藤さんの詩を朗読した。戦後60年の2005年、東京大空襲があった3月に書かれたとみられる。読み上げられた全文は次の通り。



3月の祈り

60年前、弥生。ひな人形たちも大勢焼けて世を去りました。

声もあげず、まばたきもせず、折り重なって。

優しい女の人たちよ、もうひなたちが死なないう、毎日心をくわいてください。

たくましい男の人たちよ、もう女たちが泣かないよう、毎日心を傾けてください。

弥生3月、桃の花に祈ります。

たとえ戦火のもとでも、枝は芽吹き、花はつぼみをつけるのでした。

たとえ地下壕(ごう)の中でも、少年も少女も、白い歯をこぼれさせていたのです。

たとえどんな切ない運命が、瞬時にその光景をさらっていつてしまおうとも。

60年前の早春を忘れまい、と私は祈ります。

60年前に終わったあの戦争の、最年少の目撃者、証言者として。

加藤剛さん お別れの会、1000人が参列

毎日新聞 2018年9月30日 16時56分(最終更新 9月30日 17時14分)

時代劇「大岡越前」や映画「砂の器」で知られ、80歳で死去した俳優、加藤剛さんのお別れの会が30日、東京都港区の青山葬儀所で行われ、ゆかりの俳優ら関係者と一般参列者計1000人が別れを告げた。



青山葬儀所で行われた加藤剛さんのお別れの会＝代表撮影（共同）

祭壇には15年ほど前に撮影された笑顔の加藤さんの写真が掲げられ、3500本の花が彩った。会では作品を朗読する加藤さんの生前の声を紹介。弔辞を述べた里見浩太郎さんは「いつも穏やかで優しく、心温かい笑顔が脳裏から離れない」としのび、栗原小巻さんも共演の思い出と感謝の気持ちを語った。

俳優座で舞台を共にしてきた次男の加藤頼さんが親族あいさつの中で「今日は最後の晴れ舞台。俳優加藤剛に拍手を送って飾っていただけたら」と参列者に呼び掛けると、場内は大きな拍手に包まれた。

加藤さんは6月に胆のうがんで死去した。

樹木希林さんに1500人が別れ



葬儀場に設けられた故樹木希林さんの祭壇＝30日午前、東京都港区

9月15日に75歳で死去した樹木希林(本名内田啓子)さんの葬儀が30日、東京都港区の光林寺で行われ、関係者やファンら1500人が参列し、ドラマや映画で活躍した名女優の死を悼んだ。

葬儀には夫でロック歌手の内田裕也さんや長女の夫、本木雅弘さんのほか、女優の吉永小百合さん、リリー・フランキーさんらが参列。約1200本の菊とコチョウランなどであしらった祭壇を前に、悲しみの列が続いた。

葬儀では、樹木さんが出演した映画「万引き家族」の是枝裕和監督のメッセージを文学座の研究所で同期だった橋爪功さんが代読。今年3月に本人から直接病状を明かされ「あなたの作品に出るのはこれでおしまい」と言われたといい、「二度母を失ったような、今はそんな悲しみの沼の中にいます。私と出会ってくれてありがとうございます」としのんだ。

本木さんは囲み取材で「まだ生きています」と感慨深げに話し、治療中に「(夫の内田)裕也さんに会いたい」と周囲に漏らしていたことや、死の間際には内田さんがスマートフォンで直接樹木さんをはげましていた様子を話した。(時事通信 2018/09/30-15:46)

希林さん、本棚にしまった夫の手紙 絶句した也哉子さん
朝日新聞デジタル 2018年9月30日 15時19分



樹木希林さんの葬儀に参列する(左から)内田雅楽さん、玄兎さん、伽羅さん＝2018年9月30日午前9時34分、東京都港区の光林寺、北村玲奈撮影



30日に都内で開かれた樹木希林さんの葬儀では、最後に長女の内田也哉子さんが、父で喪主の裕也さんに代わってあいさつをした。

結婚するまでの19年間、母と2人きりの家庭だったと振り返り、「そこにまるで象徴としてのみ君臨する父でしたが、何をすることも常に私たちにとって大きな存在だったことは確かです。幼かった私は不在の父の重すぎる存在に押しつぶされそうになることもありましたが」と明かした。

「ところが、困った私がなぜこういう関係が続けるのかと母を問い詰めると、平然と『だってお父さんにはひとかけら、純なものがあるから』と私を黙らせるのです」とも振り返った。

永遠にわかりようもないミステリーだった母と父の関係。だが、也哉子さんは数日前、書庫にある母の本棚にあった小さなアルバムの中から、ロンドンのホテルの色あせた便箋(びんせん)を見つけた。裕也さんから、樹木さんがまだ悠木千帆と名乗っていた頃のエアメールだったという。

「結婚1周年は帰ってから二人きりで祝おう」と始まり、「裕也に経済力があればもっとトラブルが少なくなるでしょう。おれの夢とギャンブルで高価な代償を払わせていることはよく自覚しています。つきつめて考えると、自分自身の矛盾に大きくぶつかるのです」と心境を吐露していた。

「早くジレンマの回答が得られるよう祈ってください。落ち着きとずるさの共存にならないようにも」。手紙は「飯、このやろー、てめー、でも本当に心から愛しています。1974年10月19日ロンドンにて 裕也」と締めくくられていたという。

也哉子さんは「今まで想像すらしなかった。勝手だけ

ども、父から母への感謝と親密な思いのつまった手紙に、私はしばし絶句してしまいました。普段は手に負えない父の混沌（こんとん）と苦悩と純粋さが妙に腑（ふ）に落ち、母が誰にもみせることなく、それを大切に自分の本棚にしまってあったことに納得してしまいました」「そして長年心のどこかで許しがたかった父と母のありかたへのわだかまりがすーっと解けていくのを感じたのです」と語った。



是枝裕和監督の弔辞を讀

み上げる俳優の橋爪功さん＝松竹提供

オノ・ヨーコさん、希林さんをしのぶ 「頭のキレる人」 朝日新聞デジタル 2018年9月30日 14時30分



樹木希林さんの葬儀に参列する安藤サクラ

さん＝2018年9月30日午前9時30分、東京都港区の光林寺、北村玲奈撮影

樹木希林さんの葬儀で、俳優の安藤サクラさんがオノ・ヨーコさんのメッセージを代読した。全文は以下の通り。

◇

樹木さん、こないだニューヨークでお目にかかったばかりなのに、あつというまに旅だつてしまわれ、本当に残念です。

あなたのように頭のキレる人は、日本ではほかに知りません。

みんなのために頑張ってくださいとお話ししましたよね。裕也さんもさぞかしショックでしょう。樹木さんが先に逝つてしまわれるなんて。

お嬢さんのためにもマッチョにならないで。どうせ死んでしまうんだからなんて思わないで。

ご自分の体を守って、頑張ってください。

お酒のまない、タバコすわない。やってみてください。

私もジョンが死んでしまつてから、それがどれくらい私の息子のショーンに影響を与えたかということに気がつきませんでした。ショーンは父親がいないことをとても強く感じていました。

ほかの人のためにも自分を大事に

樹木さんと裕也さん

アイラブユー

ヨーコ



75歳で亡くなった俳優の樹木希林（きき・きりん、本名内田啓子〈うちだ・けいこ〉）さんの葬儀が30日、東京都港区の光林寺で催された。弔辞は、今年のカンヌ国際映画祭で最高賞のパルムドールを受賞した映画「万引き家族」の是枝裕和監督がしたため、俳優の橋爪功さんが20分にわたつて代読。2人の親交が短編映画さながらに浮かび上がった。全文は以下の通り。

◇

弔辞というのは、人の死を悲しみ悼むもので、告別式は文字どおり別れを告げる場だと辞書には記されています。希林さんが重い病を抱えていた以上、いつかはこの日が来るのだと覚悟はしていましたが、それでもやはりこんなに急にお別れを告げなければいけなくなるとは正直思つておらず、途方に暮れています。もう随分前に実の母は他界しておりますが、二度母を失つたような、いまはそんな悲しみの沼の中にいて、なかなかそこから抜け出せそうにありません。それだけ私にとってあなたの存在は特別だったのだと思います。

希林さんと私が最初にお会いしたのは2007年のことです。ですから、まだ10年ちょっとのお付き合いです。ですから私が語れるのは、あなたの人生の、そして役者としての長いキャリアの、最後の数ページに過ぎません。そんな私が弔辞を讀むなどという大役を担う資格があるのか、本当に心許ない限りですが、それでも悩んだ末に、お引き受けることにしました。

いまこの弔辞を讀んで頂いてい…

希林さん映す映画のような20分 是枝監督が捧げた弔辞

朝日新聞デジタル 2018年9月30日 13時24分